

2022年度版

検査案内書

毎日の健康を支えるお手伝い

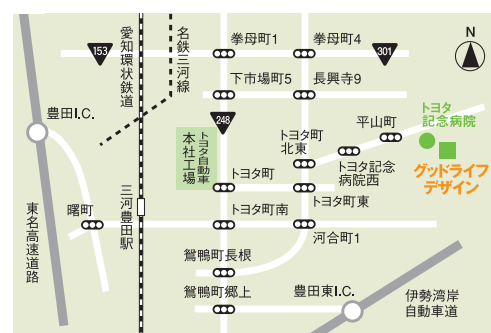


<http://www.goodld.com/>



株式会社 グッドライフデザイン

〒471-0821 愛知県豊田市平和町1-66
TEL 0565-25-3010(代) | FAX 0565-25-3012(代)



<公共交通機関をご利用の方>

- ◇名鉄豊田線「豊田市駅」より名鉄バスで30分
「トヨタ記念病院」行き「トヨタ記念病院」下車 徒歩3分
- ◇名鉄三河線「土橋駅」よりとよたおいでんバスで15分
「土橋・トヨタ記念病院線」「トヨタ記念病院」下車 徒歩3分
- ◇愛知環状鉄道「三河豊田駅」より名鉄バスで10分
「トヨタ記念病院」行き
またはとよたおいでんバスで10分
「土橋・トヨタ記念病院線」「豊田東環状線」

<車をご利用の方>

- ◇伊勢湾岸自動車道 「豊田東IC」より15分(5km)
- ◇東名高速道路 「豊田IC」より20分(7Km)

2022年4月発行
株式会社 グッドライフデザイン
ラボラトリー事業部



株式会社
グッドライフデザイン

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

総合検査案内 INDEX

検査項目索引	2
ご利用の手引き	8
一般検査	●尿一般検査 12 ●糞便検査 ●髄液検査(髄液・羊水) ●胸水・腹水検査 ●精液検査 14 ●血液ガス 15 ●その他 16
血液学検査	●血液一般検査 20 ●凝固線溶系検査 21 ●用手系検査 22
生化学検査	●蛋白 ●酵素関連物質 24 ●低分子窒素化合物 25 ●電解質 ●生体微量元素 ●ビタミン 26 ●糖質関連物質 ●脂質関連物質 27
免疫血清学検査	●感染症関連検査 30 ●免疫グロブリン ●補体 ●自己免疫関連検査 31 ●血漿蛋白 ●血液型検査 32 ●アレルギー検査 33
内分泌学検査	●内分泌学検査 36
腫瘍関連検査	●腫瘍関連検査 38
ウイルス学検査	●ウイルス学検査 40
薬物検査	●薬物検査 42
微生物学検査	●一般細菌検査 ●抗酸菌検査 44 ●その他 45 ●感受性薬剤一覧〈薬剤セット一覧〉 46
その他	- 緊急報告対象項目とその基準 50 - 基準値設定根拠一覧 52 - 参考文献一覧 56 - 容器一覧 64

総合検査案内 検査項目索引

五十音

ア	亜鉛 (Zn)	26
	亜硝酸塩 (尿定性)	12
	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	24
	アデノウイルス抗原 (咽頭)	16
	アニオンギャップ (AnGap) (血ガス)	15
	アミラーゼ (AMY)	24
	(膵臓由来) アミラーゼ (P-AMY)	24
	(尿中) アミラーゼ (尿中AMY)	13
	アメーバ原虫	14
	アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	24
	アルカリホスファターゼ (ALP)	24
	アルブミン (ALB)	24
	(尿中) アルブミン (尿中ALB)	13
	アンモニア (NH ₃)	16
イ	(シカHIK) 胃型ムチン	17
	一酸化炭素ヘモグロビン (COHb) (血ガス)	15
	インドシアニングリーン試験 (ICG)	25
	インフルエンザ抗原	16
ウ	右胸水検査	14
	ウロビリノーゲン (尿定性)	12
	運動率 (精液検査)	14
エ	エストラジオール (E2)	37
	(尿中) エストリオール半定量 (E3スライド)	16
	塩基過剰 (BE) (血ガス)	15
オ	黄体形成ホルモン (LH)	36
カ	外観 (髄液・羊水検査)	14
	核酸同定検査 (結核菌群)	44
	核酸同定検査 (MAC)	44
	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	21
	カリウム (K)	26
	カリウム (K ⁺) (血ガス)	15
	(尿中) カリウム (尿中K)	12
	カルシウム (Ca)	26
	カルシウム (Ca ²⁺) (血ガス)	15
	(尿中) カルシウム (尿中Ca)	13
	カルバマゼピン (CARB)	42
	還元ヘモグロビン (HHb) (血ガス)	15
	癌胎児性抗原 (CEA)	38
	ガンマ-グルタミルトランスペプチダーゼ (γ-GT)	24
	間接ビリルビン (I-Bil)	24
	寒冷凝集反応 (CHA)	30
キ	気管支肺胞洗浄液 (BAL) 検査	22
	胸水検査	14
	蟯虫卵	14

ク	グラム染色 (塗抹鏡検 (一般細菌))	44
	グリオアルブミン (GA)	27
	グルコース (血糖精査)	27
	グルコース (糖スクリーニング)	27
	(尿) グルコース → 尿中グルコース	12
	グルコース (GLU) (胸水・腹水検査)	14
	グルコース (GLU) (髄液・羊水検査)	14
	グルコース負荷試験 (75g OGTT)	27
	グルコース (Glu) (血ガス)	15
	クレアチニン (CRE)	25
	(尿中) クレアチニン (尿中CRE)	13
	クレアチニンクリアランス (CCR)	16
	クレアチンキナーゼ (CK)	24
	クロスミキシング試験	21
	クロール (Cl)	26
	(尿中) クロール (尿中Cl)	12
	クロール (Cl) (胸水・腹水検査)	14
ケ	クロール (Cl) (髄液・羊水検査)	14
	クロール (Cl ⁻) (血ガス)	15
	血液ガス	15
	血液型	32
	血液像 (機械法)	20
	血液像 (末梢血液像検査)	20
	血球計算 (末梢血一般検査)	20
	血小板クリット (PcT) (末梢血一般検査)	20
	血小板数 (PLT) (末梢血一般検査)	20
	血小板体積分布幅 (PDW) (末梢血一般検査)	20
	血清鉄 (Fe)	26
	血糖精査 (GLU)	27
	ケトン体 (尿定性)	12
	嫌気性培養 (一般細菌)	44
	結核菌群核酸同定検査	44
コ	高感度トロポニンI	32
	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	36
	抗ストレプトキナーゼ抗体 (ASK)	30
	抗ストレプトリジンO抗体 (ASO)	30
	コリンエステラーゼ (ChE)	24
	(HDL-) コレステロール (HDL-C)	27
	(LDL-) コレステロール (LDL-C)	27
	(non-HDL-) コレステロール (non-HDL-C)	27
	(総) コレステロール (T-Cho)	27
	コロナ抗原定性 (SARS-CoV-2抗原定性)	16
サ	コロナ抗原定量 (SARS-CoV-2抗原定量)	40
	細胞数 (髄液・羊水検査)	14
	左胸水検査	14
	酸素化ヘモグロビン (O ₂ Hb) (血ガス)	15
	酸素分圧 (pO ₂) (血ガス)	15
	酸素飽和度 (O ₂ SAT) (血ガス)	15

シ	(シカHIK)胃型ムチン	17
	糸球体ろ過量 (eGFR)	25
	シクロスポリン (CsA)	42
	ジゴキシン (DIG)	42
	重炭酸イオン (HCO ₃ ⁻) (血ガス)	15
	(ヒト)絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	36
	集卵法 (虫卵)	14
	浸透圧 (血清)	25
	浸透圧 (尿)	25

ス	膵臓由来アミラーゼ (P-AMY)	24
	髄液検査	14
	髄膜炎菌迅速同定検査	45

セ	精液検査	14
	精液量 (精液検査)	14
	精子濃度 (精液検査)	14
	正常形態率 (精液検査)	14
	赤血球浸透圧脆弱性試験 (赤血球抵抗試験)	22
	赤血球数 (RBC) (末梢血一般検査)	20
	赤血球沈降速度 (60分)	16
	赤血球抵抗試験 (赤血球浸透圧脆弱性試験)	22
	赤血球分布幅 (RDW) (末梢血一般検査)	20
	潜血 (尿定性)	12
	前立腺特異抗原 (PSA)	38

ソ	総コレステロール (T-Chol)	27
	総蛋白 (TP)	24
	総鉄結合能 (TIBC)	26
	総ビリルビン (T-Bil)	24
	総ビリルビン (tBil) (血ガス)	15
	総ヘモグロビン (tHb) (血ガス)	15
	総IgE (非特異的IgE) (tIgE)	33

タ	炭酸ガス分圧 (pCO ₂) (血ガス)	15
	(総)蛋白 (TP)	24
	(尿中)蛋白 (尿中TP)	12
	蛋白 (TP) (胸水・腹水検査)	14
	蛋白 (TP) (髄液・羊水検査)	14
	蛋白 (尿定性)	12
	単核球% (髄液検査)	14
	多核球% (髄液検査)	14

チ	中性脂肪 (TG)	27
	直接ビリルビン (D-Bil)	24
	チール・ネルゼン法 (塗抹鏡検 (抗酸菌))	45

テ	テオフィリン (THEO)	42
	テストステロン (TESTO)	37
	(血清)鉄 (Fe)	26

ト	糖スクリーニング (S-GLU)	27
	糖 (尿定性)	12
	特異的IgE (sIgE)	33
	塗抹鏡検 (一般細菌)	44
	塗抹鏡検 (抗酸菌)	44
	塗抹法 (虫卵)	14
	トリグリセライド (TG) → 中性脂肪 (高感度)トロポニンI	27 32

ナ	ナトリウム (Na)	26
	(尿中)ナトリウム (尿中Na)	12
	ナトリウム (Na ⁺) (血ガス)	15

ニ	乳酸脱水素酵素 (LD (LDH))	24
	尿酸 (UA)	25
	尿素呼気試験 (C-UBIT)	17
	尿素窒素 (UN)	25
	(尿中)尿素窒素 (尿中UN)	13
	尿中アミラーゼ (尿中AMY)	13
	尿中アルブミン (尿中ALB)	13
	尿中エストリオール半定量 (E3スライド)	16
	尿中カリウム (尿中K)	12
	尿中カルシウム (尿中Ca)	13
	尿中クレアチニン (尿中CRE)	13
	尿中クロール (尿中Cl)	12
	尿中蛋白 (尿中TP)	12
	尿中グルコース (尿中GLU)	12
	尿中ナトリウム (尿中Na)	12
	尿中尿素窒素 (尿中UN)	13
	尿中肺炎球菌抗原	17
	尿中無機リン (尿中IP)	13
	尿中薬物定性	16
	尿中レジオネラ抗原	17
	尿中HCG定性	16
	尿中NAG	13
	尿中β2-MG	13
	尿沈渣	12
	尿定性	12
	尿定量培養 (一般細菌)	44
	妊婦糖負荷試験 (50g 60min)	27

ノ	(ヒト)脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)	32
	脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)	32
	ノロウイルス	45

ハ	梅毒抗体定性 (TPAb定性)	30
	梅毒抗体定量 (TPAb定量)	30
	培養検査 (抗酸菌)	44
	培養同定 (一般細菌)	44
	白血球数 (WBC) (末梢血一般検査)	20
	白血球 (尿定性)	12

総合検査案内 検査項目索引

ハプトグロビン(Hp)	32
バルプロ酸 (VALP)	42
バンコマイシン (VCM)	42
(尿中)肺炎球菌抗原	17
(鼻腔ぬぐい)肺炎球菌抗原	17

ヒ	鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原	17
	比重(胸水・腹水検査)	14
	比重(尿定性)	12
	ビタミンB12 (VB12)	26
	非特異的IgE (総IgE) (tIgE)	33
	ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	36
	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)	32
	ヒトメタニューモウイルス抗原 (hMPV)	16
	病原大腸菌O157	45
	病原大腸菌EHEC	45
	(総)ビリルビン (T-Bil)	24
	(直接)ビリルビン (D-Bil)	24
	(間接)ビリルビン (I-Bil)	24
	ビリルビン(尿定性)	12

フ	フィブリノーゲン (FIB)	21
	フェニトイン (PHNY)	42
	フェノバルビタール (PHNO)	42
	フェリチン (FER)	32
	腹水検査	14
	不飽和鉄結合能 (UIBC)	26
	プロカルシトニン (PCT)	30
	プロゲステロン (PRGE)	36
	プロトロンビン時間 (PT)	21
	プロラクチン (PRL)	36

ヘ	平均血小板容積 (MPV) (末梢血一般検査)	20
	平均赤血球色素量 (MCH) (末梢血一般検査)	20
	平均赤血球色素濃度 (MCHC) (末梢血一般検査)	20
	平均赤血球容積 (MCV) (末梢血一般検査)	20
	ペプシノーゲン (PG)	24
	ヘマトクリット (Hct) (末梢血一般検査)	20
	ヘマトクリット (Hct) (血ガス)	15
	ヘモグロビン (HGB) (末梢血一般検査)	20
	ヘモグロビンA1c (HbA1c)	27
	ヘリコバクター・ピロリ抗体 (HPAb)	30
	ペロ毒素	45
	便潜血(1日目、2日目)	14

ホ	墨汁染色(塗抹鏡検(一般細菌))	44
	(血清)補体価 (CH50)	31

マ	マイコプラズマ (LAMP法)	45
	マイコプラズマ抗体 (MYCO)	30

マグネシウム (Mg)	26
末梢血一般検査	20
末梢血液像検査	20

ム	無機リン (IP)	26
	(尿中)無機リン(尿中IP)	13

メ	免疫グロブリンA (IgA)	31
	免疫グロブリンG (IgG)	31
	免疫グロブリンM (IgM)	31
	メトヘモグロビン (MetHb) (血ガス)	15

モ	網赤血球数 (RET)	20
----------	-------------	----

ヤ	薬剤感受性検査(一般細菌)	44
----------	---------------	----

ユ	遊離サイロキシシン (FT ₄)	36
	遊離トリヨードサイロニン (FT ₃)	36

ヨ	葉酸 (FolateBA)	26
	羊水検査	14

ラ	ラクテート (Lac) (血ガス)	15
	卵胞刺激ホルモン (FSH)	36

リ	リウマチ因子 (RF)	31
	リパーゼ (LIP)	24
	リバルタ反応(胸水・腹水検査)	14
	(無機)リン (IP)	26

レ	(尿中)レジオネラ抗原	17
----------	-------------	----

ロ	ロタウイルス/アデノウイルス(便)	45
----------	-------------------	----

アルファベット

A	ABO式血液型	32
	AFP(α-フェトプロテイン)	38
	A/G	24
	ALB(アルブミン)	24
	(尿中)ALB(尿中アルブミン)	13
	ALP(アルカリホスファターゼ)	24
	ALT(アラニンアミノトランスフェラーゼ)	24
	AMP(尿中)	16
	AMY(アミラーゼ)	24
	(尿中)AMY(尿中アミラーゼ)	13
	AnGap(血ガス)	15
	APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)	21
	ASK(抗ストレプトキナーゼ抗体)	30
	ASO(抗ストレプトリジノ抗体)	30
	AST(アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)	24
	A群β溶連菌抗原	16

B	BAL(気管支肺胞洗浄液)検査	22
	BE(血ガス)	15
	BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	32
	BAR(尿中)	16
	BZO(尿中)	16

C	C3	31
	C4	31
	Ca(カルシウム)	26
	(尿中)Ca(尿中カルシウム)	13
	Ca ²⁺ (血ガス)	15
	CARB(カルバマゼピン)	42
	CA125	38
	CA15-3	38
	CA19-9	38
	CCR(クレアチンクリアランス)	16
	CDトキシンA/B、CD抗原	45
	CEA(癌胎児性抗原)	38
	CH50(補体価)	31
	CHA(寒冷凝集反応)	30
	ChE(コリンエステラーゼ)	24
	CK(クレアチンキナーゼ)	24
	Cl(胸水・腹水検査)	14
	Cl(クロール)	26
	Cl(髄液・羊水検査)	14
	(尿中)Cl(尿中クロール)	12
	COHb(血ガス)	15
	COC(尿中)	16
	Cl ⁻ (血ガス)	15
	CRE(クレアチニン)	25
	(尿中)CRE(尿中クレアチニン)	13
	CRP	32
	CsA(シクロスポリン)	42
	C-UBIT(尿素呼気試験)	17

D	D-Bil(直接ビリルビン)	24
	Dダイマー	21
	DIG(ジゴキシン)	42

E	E2(エストラジオール)	37
	E3スライド(尿中エストリオール半定量)	16
	eGFR(糸球体ろ過量)	25

F	FDP	21
	Fe(血清鉄)	26
	FER(フェリチン)	32
	FIB(フィブリノーゲン)	21
	FolateBA(葉酸)	26
	FSH(卵巣刺激ホルモン)	36
	FT ₃ (遊離トリヨードサイロニン)	36
	FT ₄ (遊離サイロキシニン)	36

G	GA(グリコアルブミン)	27
	GLU(胸水・腹水検査)	14
	Glu(血ガス)	15
	GLU(血糖精査)	27
	GLU(髄液・羊水検査)	14
	(S-)GLU(糖スクリーニング)	27
	(尿中)GLU(尿中グルコース)	12
	GOT(AST)	24
	GPT(ALT)	24

H	HbA1c	27
	HBc抗体(HBcAb)	40
	HBs抗原(HBsAg)	40
	HBs抗体(HBsAb)	40
	HCG(ヒト絨毛性ゴナドトロピン)	36
	HCG定性(尿)	16
	HCO ₃ ⁻ (血ガス)	15
	HcT(血ガス)	15
	Hct(ヘマトクリット)(末梢血一般検査)	20
	HCV抗体(HCVAb)	40
	HDL-C(HDL-コレステロール)	27
	HGB(ヘモグロビン)(末梢血一般検査)	20
	HHb(血ガス)	15
	HIV抗原抗体スクリーニング(HIV Ag/Ab)	40
	hMPV(ヒトメタニューモウイルス抗原)	16
	Hp(ハプトグロビン)	32
	HPAb(H.ピロリ抗体)	30
HTLV-I抗体	40	

I	I-Bil(間接ビリルビン)	24
	ICG(インドシアニンググリーン試験)	25
	IgA(免疫グロブリンA)	31
	IgE(特異的・非特異的)	33
	IgG(免疫グロブリンG)	31
	IgM(免疫グロブリンM)	31

総合検査案内 検査項目索引

IL-2R	38
IP(無機リン)	26
(尿中)IP(尿中無機リン)	13

K	K(カリウム)	26
	K ⁺ (血ガス)	15
	(尿中)K(尿中カリウム)	12
	KL-6	27

L	Lac(血ガス)	15
	LD(LDH)(乳酸脱水素酵素)	24
	LDL-C(LDL-コレステロール)	27
	LH(黄体形成ホルモン)	36
	LIP(リパーゼ)	24

M	MAC核酸同定検査	44
	MCH(平均赤血球血色素量)(末梢血一般検査)	20
	MCHC(平均赤血球血色素濃度)(末梢血一般検査)	20
	MCV(平均赤血球容積)(末梢血一般検査)	20
	MET(尿中)	16
	MetHb(血ガス)	15
	Mg(マグネシウム)	26
	MPV(平均血小板容積)(末梢血一般検査)	20
	MTD(尿中)	16
	MYCO(マイコプラズマ抗体)	30

N	Na(ナトリウム)	26
	Na ⁺ (血ガス)	15
	(尿中)Na(尿中ナトリウム)	12
	(尿中)NAG	13
	NH ₃ (アンモニア)	16
	non-HDL-C(non-HDLコレステロール)	27
	NT-proBNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)	32

O	O ₂ Hb(血ガス)	15
	OPI(尿中)	16
	O ₂ SAT(血ガス)	15

P	P-AMY(膵臓由来アミラーゼ)	24
	pCO ₂ (血ガス)	15
	PCT(プロカルシトニン)	30
	PcT(血小板クリット)(末梢血一般検査)	20
	PCP(尿中)	16
	PDW(血小板体積分布幅)(末梢血一般検査)	20
	PG(ペプシノゲン)	24
	pH(血ガス)	15
	pH(胸水・腹水検査)	14
	pH(精液検査)	14
	pH(尿定性)	12
	PHNO(フェノバルビタール)	42
	PHNY(フェニトイン)	42

PIVKA-II	38
PLT(血小板数)(末梢血一般検査)	20
pO ₂ (血ガス)	15
PRGE(プロゲステロン)	36
PRL(プロラクチン)	36
PSA(前立腺特異抗原)	38
PT(プロトロンビン時間)	21

R	RBC(赤血球数)(末梢血一般検査)	20
	RDW(赤血球分布幅)(末梢血一般検査)	20
	RET(網赤血球数)	20
	RF(リウマチ因子)	31
	Rh式血液型	32
	RPR定性	30
	RPR定量	30
	RSウイルス抗原	16

S	SARS-CoV-2核酸検出検査	45
	SARS-CoV-2抗原定性(コロナ抗原定性)	16
	SARS-CoV-2抗原定量(コロナ抗原定量)	40
	SCC	38
	S-GLU(糖スクリーニング)	27
	sIgE(特異的IgE)	33

T	tBil(血ガス)	15
	T-Bil(総ビリルビン)	24
	TCA(尿中)	16
	T-Cho(総コレステロール)	27
	TESTO(テストステロン)	37
	TG(中性脂肪)	27
	tHb(血ガス)	15
	THC(尿中)	16
	THEO(テオフィリン)	42
	TIBC(総鉄結合能)	26
	tIgE(総IgE、非特異的IgE)	33
	TP(胸水・腹水検査)	14
	TP(髄液・羊水検査)	14
	TP(総蛋白)	24
	(尿中)TP(尿中蛋白)	12
	TPAb定性(梅毒抗体定性)	30
	TPAb定量(梅毒抗体定量)	30
	TSH(甲状腺刺激ホルモン)	36

U	UA(尿酸)	25
	UIBC(不飽和鉄結合能)	26
	UN(尿素窒素)	25
	(尿中)UN(尿中尿素窒素)	13

V	VALP(ババルプロ酸)	42
	VB12(ビタミンB12)	26
	VCM(バンコマイシン)	42

数字

W	WBC(白血球数)(末梢血一般検査)	20
Z	Zn(亜鉛)	26
α	α-フェトプロテイン(AFP)	38
β	β-D-グルカン	30
	β2-MG(β2マイクログロブリン)	30
	(尿中)β2-M	13
γ	γ-GT(ガンマ-グルタミルトランスぺプチダーゼ)	24

7	75g OGTT(グルコース負荷試験)	27
---	---------------------	----

総合検査案内 ご利用の手引き

取引のお申し込み

弊社をご利用の際には右記までご連絡ください。営業員がお伺いし、検査のご依頼方法や報告形式及び検体の集配・輸送方法についてご説明・ご相談させていただきます。

検体提出の際の注意事項

- ・検査項目によって室温保存、冷蔵保存、凍結保存などに区別されます。
- ・詳細は保存方法の欄をご参照ください。
- ・指定の材料・容器以外で提出された場合は参考値となります。

検体の保管

血清検体は、検体受領後1週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。

その他の検体の保管日数は、検体の種類によって異なりますが、腐敗、変性の著しい材料は、検査実施後速やかに処分させていただきますので、予めご了承ください。

再検査

弊社再検基準に基づき再検査をいたします。

検査必要量に満たない検体量でご依頼の時には、再検査ができない場合があります。

検査についてのお問い合わせ

検査に関するお問い合わせはラボラトリー事業部までお問い合わせください。

料金のご請求とお支払い方法

お支払い方法は営業員とご相談ください。

その他

- ・当案内書に記載している項目以外につきましても、一部の検査におきましては当ラボ責任管理の下、右記委託先へ再委託しております。詳しくは弊社ラボラトリー事業部までお問い合わせください。尚、当検査室から再委託先までの搬送時間はおよそ4～8時間（一部例外あり）です。
- ・検査報告書と表記が異なる項目がありますので、詳しくはラボラトリー事業部までお問い合わせください。

【各種お問い合わせ】

株式会社グッドライフデザイン

〒471-0821 愛知県豊田市平和町1-66

営業時間：平日 8:30～17:30

取引のお申し込み・契約について

TEL 0565-25-3010 (代) FAX 0565-25-3012 (代)

検査内容について(ラボラトリー事業部)

TEL 0565-25-3165 (代) FAX 0565-25-3166 (代)

室温	：室温保存してください。(20℃前後)
冷蔵	：必ず冷蔵(1～15℃)で保存してください。
氷冷	：必ず氷冷し速やかにご提出ください。
凍結	：必ず凍結(-20℃以下)保存してください。
不可	：保存不可のため採取後速やかにご提出ください。

※トヨタ記念病院から当検査室までの平均搬送時間は約30分です。
※検体採取に関しては、各施設の手順に準じて行ってください。

委託先

- 株式会社 LSIメディエンス(L)
- 株式会社 エスアールエル(S)
- 株式会社 ビー・エム・エル(B)
- 一般社団法人 半田市医師会健康管理センター(H)
- 株式会社 ヘルスケアシステムズ(H2)
- 福井大学医学部附属病院・小児科代謝検査部門(F)
- 株式会社 コスミックコーポレーション(C)
- 株式会社 サイキンソー(C2)
- 株式会社 アイジェノミクスジャパン(I)
- 株式会社 ファルコバイオシステムズ(F2)
- 中央労働災害防止協会(J)
- 株式会社 日本遺伝子研究所(J2)
- 株式会社 OVUS(O)

※()内記号は報告書記載の凡例です

総合検査案内 ご利用の手引き

基準値の単位

g	gram
mg	milligram (=0.001g)
μg	microgram (=0.001mg)
ng	nanogram (=0.001 μg)
pg	picogram (=0.001ng)
L	liter
dL	deciliter (=0.1L)
mL	milliliter (=0.001L)
μL	microliter (=0.001mL)
U	Unit
IU	International Unit
mIU	milli International Unit
mEq	milli Equivalent
mmol	milli mole (=0.001mol)
mm	milli meter (=0.001meter)
mmHg	milli meter 水銀柱
%	percent
‰	permil (=0.1%)
R.U.	RPR Units
COI	cut off index
cre	creatinine
h	hour

検査方法略称

PA	ゼラチン粒子凝集法
CLIA	化学発光免疫測定法
FEIA	蛍光酵素免疫測定法
HPLC	高速液体クロマトグラフィー
ECLIA	電気化学発光免疫測定法

個人情報保護方針

私どもでは、「人格尊重の理念」よりお客様の個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、下記の基本方針に基づき個人情報保護に努めています。

1. 個人情報の適切な取得・利用・提供について
弊社は、弊社事業に必要な範囲においてのみ個人情報を取得・利用・提供いたします。
個人情報の取得にあたってはあらかじめ利用目的を特定した上でお客様に明示し、特定した利用目的の達成に必要な範囲を超えた“目的外利用”は行いません。弊社は、弊社の事業の内容及び規模を考慮した個人情報の管理体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用、提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。
2. 個人情報の取扱いに関する法令規範の遵守について
弊社は、個人情報の取扱いに関する各種法令、国が定める指針、並びにその他の規範を遵守いたします。
3. 個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止及び是正について
弊社は、個人情報へのリスクを常に認識し、必要かつ適切なセキュリティ対策を行います。また個人情報保護の重要性について全社員に対する教育啓発活動を実施することにより、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止に対する万全の予防措置を講ずると共に、万が一、問題が発生した場合には速やかに是正対策を施します。
4. 苦情及び相談への対応
弊社の個人情報の取扱いに関するお問い合わせは、右記の窓口をご利用ください。
5. 継続的改善
弊社は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護に関する内部規程を策定し、社員に対する教育・啓発を徹底し、運用状況について定期的に監査し、これを継続的に見直し、改善して参ります。

【各種お問い合わせ】

個人情報の取扱いについて

TEL 0565-25-3010 (代)

電子メール: privacy@GoodLD.com

総合検査案内 **ご利用の手引き**

検査のご依頼方法

検査のご依頼に際しましては、弊社所定の検査
依頼書、検体ラベルおよび検体容器をご使用く
ださい。

[illegible]

〈例〉

【依頼書の記入方法】

- ID、氏名、性別、生年月日、依頼日、採取日、採取時間、材料(本数)をご記入ください。
- 氏名については必ず**カタカナ**でご記入ください。
- ご依頼検査項目はチェック欄にレ点をご記入ください。
- 依頼書に記載されていない項目をご依頼の際は、**欄外項目**にご記入ください。
- その他連絡事項がある場合には**コメント欄**にご記入ください。

〈記入例〉

他の依頼書も基本的な記入方法は同様です。

[illegible]

認定資格

ISO認定証



臨検検査室

認定証

認定番号: FNM.00060



機 関 名 称

株式会社 グッドライフデザイン

本社ラボラトリー

所 在 地

愛知県豊田市平和町一丁目6番6地

貴機関は本協会の下記の基準に適合していることが認められましたので、ここに臨検検査室として認定します。

通 用 基 準:	ISO 15189: 2012 (英検対訳版)
認 定 範 囲:	耐震書による。
事 業 所:	耐震書による。
有 効 期 限:	2025年12月31日

改定日 2022年 2月 5日

更新日 2022年 1月 1日

初版認定日 2005年 12月 1日

公益財団法人

日本適合性認定協会

理事長

銀塚悦功

廣 重 悦 功

管理番号: FNM.00060-20220205

プライバシーマーク使用許諾証

ブライシーマーク

登 録 証



■ 登録番号 第 14500008 (08) 号

■ 事業所の名称及び所在地

株式会社グッドライフデザイン

愛知県豊田市平和町一丁目66番地

■ ブライシーマーク付与の有効期間

2019年12月6日～2021年12月5日

■ ブライシーマーク付与継続について審査を行ったブライシーマーク認定審査機関

一般財団法人医療情報システム開発センター

一般財団法人日本情報経済社会推進協会



総合検査案内 ご利用の手引き

検査項目欄の見方

項目コード	検査項目名	略称/別称/識別	本書64頁からの容器一覧を ご参照ください。				結果をお届けするまでの日数です。 土日祝日を除きます。 (トヨタ記念病院カレンダーに準ずる)	
項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
15087	インドシアニングリーン 試験 (ICG)●	血液 各3 速心↓ 血清 1	● 01	室温	吸光度測定法	15分停滞率 0~10 (%) K値 0.168~0.206	● 1	*ICG投与前、投与後5分、 10分、15分後に採血し、 計4本ご提出ください。採 血後速心せずに速やかに ご提出ください。 *受け入れ不可検体:血清以外、 4本全て揃っていない場合。 検体採取法はP.18を参照。
11084	浸透圧 (尿)	尿 (蓄尿以外) 2	13 または 16 または 17 または 18	冷蔵 または 凍結	氷点降下法	50~1300 (水分摂取制限なしの場合) (mOsm/Kg・H ₂ O)	1~2	*3日未満は冷蔵。 3日以上保存する場合は 凍結保存。 *受け入れ不可検体:尿以外 の検体、室温放置した検体
31047	浸透圧 (血清)	血液 5 速心↓ 血清 2	01 または 08	冷蔵 または 凍結	氷点降下法	275~290 (mOsm/Kg・H ₂ O)	1~2	*3日未満は冷蔵。 3日以上保存する場合は 凍結保存。 *受け入れ不可検体:血清以外 の検体、室温放置した検体
15097	2時間 クレアチニンクリアランス (2hCCR)	血液 2 速心↓ 血清 0.5	01 および 16	冷蔵	酵素法	70~130 (mL/min)	1~2	血清、蓄尿の両材料をご提 出ください。 身長・体重・尿量を依頼書に 必ずご記入ください。
15096	24時間 クレアチニンクリアランス (24hCCR)	● および 蓄尿 5	●	●		男性 62~108 女性 57~78 (mL/min)	1~2	*受け入れ不可検体:尿、血 清以外の検体 ●検体採取法はP.19を参照。

検体の提出条件です。
速やかにご提出いただける場合は
そのままご提出ください。
備考欄もご参照ください。

検査ご依頼にあたっての
注意事項です。

検体の提出条件です。
速やかにご提出いただける場合は
そのままご提出ください。
備考欄もご参照ください。

検査ご依頼にあたっての
注意事項です。

苦情に関するお問い合わせ

弊社は、お客様より頂戴したご意見に対して真摯に対応致します。検査に関する苦情及びご相談につきましては、ラボラトリー事業部までご連絡ください。ご相談内容に応じまして、担当部門または検査室代表より適切かつ迅速に対応させていただきます。またご相談内容は記録・分析し、再発防止及び業務改善に努めてまいります。

苦情に関するお問い合わせ窓口

TEL 0565-25-3165 (代) FAX 0565-25-3166 (代)

一般検査

尿一般検査

項目コード		検査項目		採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
11081	尿 定 性	蛋白		尿 (蓄尿以外) 10	13 または 16 または 17 または 18 または 43	冷蔵	試験紙法 (pH指示薬の 蛋白誤差法)	(-)	1～2	採尿後、当日中にご提出ください。 ※受け入れ不可検体:尿検体以外の検体、放置尿(1時間以上 病棟、他施設検体は除く。)
		糖					試験紙法(酵素法 (GOD、POD法))	(-)		
		ウロビリノーゲン					試験紙法 (アゾカップ リング法)	Normal		
		ビリルビン					試験紙法 (アゾカップ リング法)	(-)		
		pH					試験紙法 (pH指示薬法)	4.6～8.0		
		比重					屈折計法	1.006～1.030		
		ケトン体					試験紙法 (アルカリニトロ プルシド法)	(-)		
		白血球					試験紙法(白血球の エステラーゼ活性 測定法)	(-)		
		亜硝酸塩					試験紙法 (グリース法)	(-)		
		潜血					試験紙法(ヘモグロ ビンのペルオキシ ダーゼ様作用)	(-)		
		尿一般検査	11082				尿沈渣			
11002 12002	尿中蛋白(尿中TP)		尿 2	13 または 16 または 17 または 18 または 43	冷蔵	ピロガロール レッド法	随時尿:設定なし (mg/dL) 1日量: 0.02～0.12 (g/day)	1～2	脚注参照※1、2	
11001 12001	尿中グルコース (尿中GLU)		尿 2			酵素法 (ヘキソ キナーゼ法)	随時尿:設定なし (mg/dL) 1日量: 0.04～0.085 (g/day)	1～2	脚注参照※1、2	
11003 12003	尿中ナトリウム (尿中Na)		尿 2			イオン選択 電極による 希釈法	随時尿:設定なし (mEq/L) 1日量: 70～250 (mEq/day)	1～2	脚注参照※1、2	
11004 12004	尿中カリウム (尿中K)		尿 2			イオン選択 電極による 希釈法	随時尿:設定なし (mEq/L) 1日量: 25～100 (mEq/day)	1～2	脚注参照※1、2	
11005 12005	尿中クロール (尿中Cl)		尿 2			イオン選択 電極による 希釈法	随時尿:設定なし (mEq/L) 1日量: 70～250 (mEq/day)	1～2	脚注参照※1、2	

※1 蓄尿の場合には、必ず1日蓄尿量を明記してください。
 ※2 受け入れ不可検体 尿以外の検体

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
11006 12006	尿中カルシウム (尿中Ca)	尿 2	13 または 16 または 17 または 18 または 43	冷蔵	アルセナゾⅢ法	随時尿:設定なし (mg/dL) 1日量: 0.15~0.29 (g/day)	1~2	脚注参照※1、2
11007 12007	尿中無機リン (尿中IP)	尿 2			酵素法	随時尿:設定なし (mg/dL) 1日量: 0.5~1.0 (g/day)	1~2	脚注参照※1、2
11011 12011	尿中β2-MG	尿 2			ラテックス凝集 比濁法	随時尿:308以下 (μg/L) 1日量:設定なし (μg/day)	1~2	脚注参照※1、2
11012 12012	尿中NAG	尿 2			レート法	随時尿: 11.5 以下 (IU/L) 1日量:設定なし (IU/day)	1~2	脚注参照※1、2
11013	尿中アミラーゼ (尿中AMY)	尿 (蓄尿以外) 2			JSCC標準化 対応法	M 16~491U/L F 21~447U/L	1~2	脚注参照※2
11009 12009	尿中クレアチニン (尿中CRE)	尿 2			酵素法	随時尿:設定なし (mg/dL) 1日量:0.5~1.5 (g/day)	1~2	脚注参照※1、2
11008 12008	尿中尿素窒素 (尿中UN)	尿 2			ウレアーゼUV法・ アンモニア消去法	随時尿:設定なし (mg/dL) 1日量: 6.5~13.0 (g/day)	1~2	脚注参照※1、2
11022 12013	尿中アルブミン (尿中ALB)	尿 2			免疫比濁法	随時尿:30未満 (mg/gCr) 1日量:30未満 (mg/day)	1~2	脚注参照※1、2 随時尿はクレアチニン換 算値として報告するため、尿 中クレアチニンの依頼も同 時に必要です。
—	尿中蛋白クレアチニン 換算値	—			計算法	随時尿: 0.15未満 (g/g・cre)	1~2	尿蛋白定量、尿クレアチニン を分析時に報告可能です。

※1 蓄尿の場合には、必ず1日蓄尿量を明記してください。

※2 受け入れ不可検体 尿以外の検体

容器番号	容 器	備 考
13	滅菌容器	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	生化学、免疫項目、尿一般、細菌、髄液	

容器番号	容 器	備 考
16	尿コップ	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	尿一般検査、細菌検査	

容器番号	容 器	備 考
17	尿ボトル	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	尿一般検査	

容器番号	容 器	備 考
18	採尿パック	
		容量 100mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	尿一般検査	

容器番号	容 器	備 考
43	ウロキャッチ	
		容量 10mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	尿一般検査	

一般検査

糞便検査、髄液検査(髄液・羊水)、胸水・腹水検査、 精液検査

糞便検査	14004	塗抹法(虫卵)	糞便 約1g (小豆大)	20	冷蔵	直接塗抹法	(ー)	1～2	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※1
	14008	アメーバ原虫		42	室温				
	14005	集卵法(虫卵)	糞便 約1g (小豆大)	20	冷蔵	飽和食塩水 浮遊法	(ー)	1～2	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※1
	14003	蟯虫卵	セロテープ 粘着標本	21	室温	セロテープ法	(ー)	1～2	※受け入れ不可検体: 専用セロテープ以外の 検体
	14001 14081	便潜血(1日目、2日目)	糞便 約10mg	19	冷蔵	ラテックス凝集 免疫比濁法	(ー)	1～2	採取後1週間以内にご提出 ください。 ※トヨタ記念病院(入院、外来)依頼の 場合は定量値も報告いたします。 単位:ng/mL、カットオフ値120 脚注参照※2
	14007 14082								

※1 受け入れ不可検体:糞便量不足の検体、乾燥している検体、直採管以外の検体

※2 受け入れ不可検体:便以外の検体、専用容器以外の検体、保存条件を満たしていない検体

髄液検査(髄液・羊水)	15081	髄液検査	外観	髄液・羊水 3～4	13	冷蔵		無色透明	1	採取後速やかに(1時間以内)ご提出ください。 *滅菌容器は抗凝固剤の入っていないものを使用してください。基準値は髄液(成人)です。 *受け入れ不可検体:髄液・羊水以外、抗凝固剤の入っている検体
			細胞数			不可	Fuchs-Rosenthal法	5以下 (/μL)		
			単核球%、多核球%					設定なし (%)		
			蛋白(TP)			冷蔵	ピロガロール レッド法	10～40 (mg/dL)	1～2	
			グルコース(GLU)				酵素法	50～75 (mg/dL)	1～2	
			クロール(Cl)				電極法	120～125 (mEq/L)	1～2	

胸水・腹水検査	15083 ～ 15085	右胸水・左胸水・腹水	pH	穿刺液 3～4	13 または 01	冷蔵	pH指示薬による 呈色反応	設定なし	1～2	*滅菌容器は抗凝固剤の入っていないものを使用してください。 *受け入れ不可検体:穿刺液以外 ※15083 右胸水検査 15084 左胸水検査 15085 腹水検査
			比重				屈折計法	滲出液 1.018以上 漏出液 1.015以下		
			リバルタ反応				リバルタ反応	滲出液(+) 漏出液(-)		
			蛋白(TP)				ビウレット法	滲出液 4.0以上 漏出液 2.5以下(g/dL)	1～2	
			グルコース(GLU)				酵素法	設定なし(mg/dL)	1～2	
			クロール(Cl)				電極法	設定なし(mEq/L)	1～2	

精液検査	15082	精液検査	精液量	採取した 全量	23	室温 ～37℃	計量	1.4以上(mL)	1	採取後速やかに(1時間以内)ご提出ください。 採取時間を必ず明記してください。 *受け入れ不可検体:精液以外
			pH				pH指示薬による 呈色反応	7.2以上		
			精子濃度				Makler法	16.0以上(x10 ⁶ /mL)		
			運動率					42以上(%)		
			正常形態率				鏡検	4以上(%)		

血液ガス

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
血液ガス	40082 血液ガス	ヘパリン 加血液 1	14 または 15	氷冷	電極法	7.350~7.450	1	採取後速やかにご提出ください。 *基準値は動脈血・RoomAirです。 *受け入れ不可検体:室温放置した検体、大量の気泡混入した検体、凝固検体。
					電極法	35.0~45.0 (mmHg)		
					電極法	80.0~100.0 (mmHg)		
					演算	20.0~26.0 (mmol/L)		
					演算	-3.0~+3.0 (mmol/L)		
					演算	92.0~98.5 (%)		
					シアンメトヘモグロビン法	0.5~1.5 (%)		
					乳酸オキシダーゼ法	4~15 (mg/dL)		
					電極法	136~146 (mmol/L)		
					電極法	3.4~4.5 (mmol/L)		
					電極法	98~106 (mmol/L)		
					電極法	1.15~1.29 (mmol/L)		
					グルコースオキシダーゼ法	70~105 (mg/dL)		
					COオキシメーター法	設定なし (mg/dL)		
					シアンメトヘモグロビン法	12.0~18.0 (g/dL)		
					シアンメトヘモグロビン法	0.0~1.5 (%)		
					シアンメトヘモグロビン法	設定なし (%)		
					シアンメトヘモグロビン法	0.0~5.0 (%)		
					シアンメトヘモグロビン法	94.0~97.0 (%)		
					演算	10~14 (mmol/L)		

容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
		容量 6mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
13	滅菌容器	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	生化学、免疫項目、尿一般、細菌、髄液	

容器番号	容 器	備 考
14	ヘパリン加2.5mLシリンジ	
		容量 2.5 mL 添加剤 ヘパリン 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	血液ガス	

容器番号	容 器	備 考
15	ヘパリン加マイクロシリンジ	
		容量 3mL 添加剤 ヘパリン 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	血液ガス	

容器番号	容 器	備 考
16	尿コップ	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	尿一般検査、細菌検査	

容器番号	容 器	備 考
19	採便専用容器	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	便潜血	

容器番号	容 器	備 考
20	直採管	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	虫卵、便培養	

容器番号	容 器	備 考
21	蛭虫検査セロファン (2回採卵式)	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	蛭虫卵	

容器番号	容 器	備 考
23	滅菌ネジコップ	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	精液検査	

容器番号	容 器	備 考
42	アメーバ原虫専用採取容器	
		容量 14mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 5年
主な検査項目	アメーバ原虫	

容器番号	容 器	備 考
43	ウロキャッチ	
		容量 10mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	尿一般検査	

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

一般検査 その他

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
15097	2時間 クレアチニンクリアランス (2hCCR)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5 および 蓄尿 5	01 および 16	冷蔵	酵素法	70~130 (mL/min)	1~2	血清、蓄尿の両材料をご提出ください。 身長・体重・尿量を依頼書に必ずご記入ください。 *受け入れ不可検体:尿、血清以外の検体 検体採取法はP.19を参照。
15096	24時間 クレアチニンクリアランス (24hCCR)					男性 62~108 女性 57~78 (mL/min)	1~2	
22084	赤血球沈降速度 (60分)	クエン酸ナトリウム 加血液 2	06	冷蔵	ウェスターグレン法	60分値 男性 2~10 女性 3~15 (mm)	1	室温保存で2時間以内、4℃保存で6時間以内にご提出ください。 *脚注参照※1
31037	アンモニア (NH ₃)	EDTA加血液 2	02 または 09	氷冷	発色濃度反射測光法	12~66 (μg/dL)	1	採取後速やかにご提出ください。 *受け入れ不可検体:室温放置した検体、氷冷保存で2時間以上経過した検体、除蛋白後の検体、凝固検体。
13001	尿中HCG定性	尿 1	13 または 16	冷蔵	イムノクロマト法	男性 (-) 非妊娠女性 (-) 妊娠女性 (+)	1~2	*受け入れ不可検体:尿以外の検体
13003	尿中エストリオール半定量 (E3スライド)	尿 1	16 または 17 または 18	室温 または 冷蔵	ラテックス凝集 阻止反応	妊娠後期女性 10以上 (μg/mL)	1~2	早朝尿での検査が推奨されています。 *24時間未満は室温。 24時間~5日間は冷蔵保存。 *受け入れ不可検体:尿以外の検体
13005 13006 13007 13008 13009 13010 13011 13012 13013 13014	尿中薬物定性 (MET、OPI、COC、THC) (PCP、BZO、BAR、MTD) (TCA、AMP)	尿 2	13 または 16 または 17 または 18	冷蔵	イムノクロマト法	(-)	1	24時間以内にご提出ください。 *受け入れ不可検体:尿以外の検体
32072	アデノウイルス抗原(咽頭)	咽頭ぬぐい液	31	不可	イムノクロマト法	(-)	1	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※2
32068	A群β溶連菌抗原	咽頭ぬぐい液	33	不可	イムノクロマト法	(-)	1	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※2
32081	インフルエンザ抗原	鼻腔ぬぐい液	32	不可	イムノクロマト法	(-)	1	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※2
32074	RSウイルス抗原	鼻腔ぬぐい液	32	不可	イムノクロマト法	(-)	1	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※2
32090	ヒトメタニューモウイルス 抗原(hMPV)	鼻腔ぬぐい液	32	不可	イムノクロマト法	(-)	1	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※2
32105	SARS-CoV-2抗原定性 (コロナ抗原定性)	鼻咽頭ぬぐい液 鼻腔ぬぐい液	32	不可	イムノクロマト法	(-)	1	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※2
32079	鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原	鼻腔ぬぐい液	34	不可	イムノクロマト法	(-)	1	採取後速やかにご提出ください。 脚注参照※2
32084	尿中肺炎球菌抗原	尿 2	13 または 16 または 17	室温	イムノクロマト法	(-)	1~2	72時間以内にご提出ください。 *受け入れ不可検体:尿以外の検体、膿や血液で著しく混濁している尿
32083	尿中レジオネラ抗原	尿 2	17 または 18	室温	イムノクロマト法	(-)	1~2	72時間以内にご提出ください。 *受け入れ不可検体:尿以外の検体、膿や血液で著しく混濁している尿
41011	尿素呼気試験 (C-UBIT)	呼気 120	22	室温	IR赤外吸収 スペクトリー法	(-)	1	必ず尿素服用前と後のペアでご提出ください。 脚注参照※3 カットオフ値:Δ ¹³ C 2.5‰
13004	シカHIK胃型ムチン (胃型ムチン)	子宮頸管粘液	30	不可	ラテックス 凝集法	(-)	1	採取時は検査室にご連絡ください。 脚注参照※2

※1 受け入れ不可検体:指定の採血管以外の検体、検体量規定量以外の検体、凝固検体

※2 受け入れ不可検体:専用綿棒以外の検体、指定採取部位以外の検体

※3 受け入れ不可検体:専用呼気/パッフ以外の検体、120mL以下の検体。採取前準備:基本は絶飲食(飲食後8時間で検査可能)。最低30分は禁煙。

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

容器番号	容器	備考
01	茶:分離剤入り	
	容量	6mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容器	備考
02	紫:EDTA加 (EDTA2K)	
	容量	2mL
	添加剤	EDTA2K
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア	

容器番号	容器	備考
06	橙:クエン酸加 (3.28%クエン酸Na)	
	容量	2mL
	添加剤	3.28%クエン酸Na
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	赤血球沈降速度	

容器番号	容器	備考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
	容量	800μL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容器	備考
09	紫:EDTA加 (EDTA2K・ミニコレクト)	
	容量	500μL
	添加剤	EDTA2K
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア	

容器番号	容器	備考
13	滅菌容器	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	生化学、免疫項目、尿一般、細菌、髄液	

容器番号	容器	備考
16	尿コップ	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	尿一般検査、細菌検査	

容器番号	容器	備考
17	尿ボトル	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	尿一般検査	

容器番号	容器	備考
18	採尿バック	
	容量	100mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	尿一般検査	

容器番号	容器	備考
22	呼気採取バッグ	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	尿素呼気試験	

容器番号	容器	備考
30	細胞診綿棒	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	シカHIK胃型ムチン	

容器番号	容器	備考
31	アデノウイルス抗原(咽頭)専用綿棒	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	アデノウイルス抗原(咽頭)	

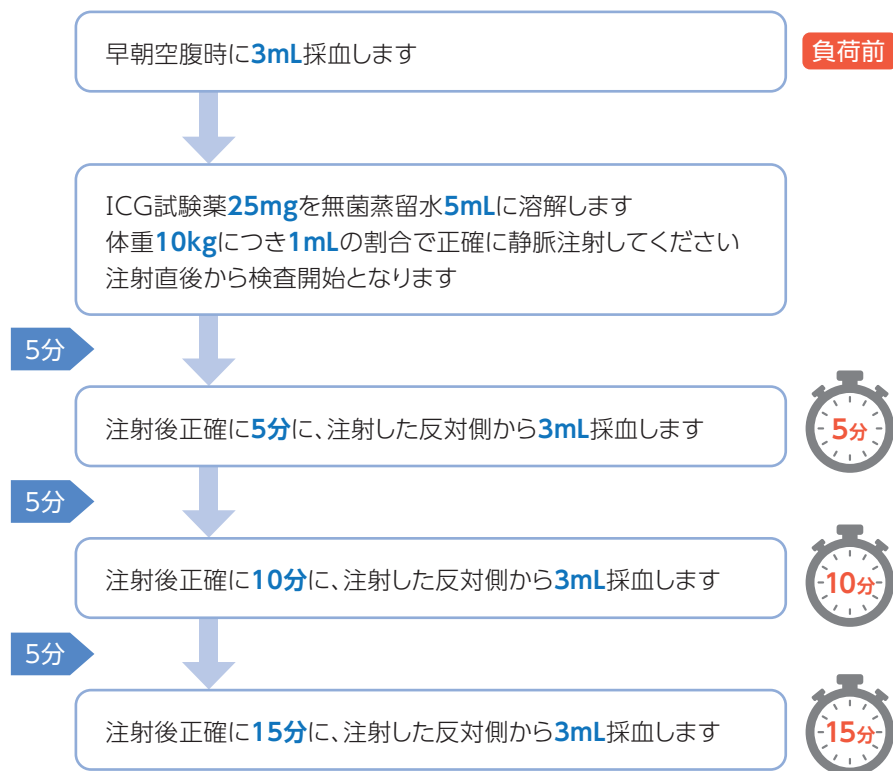
容器番号	容器	備考
32	RSウイルスインフルエンザ・SARS-CoV-2抗原ヒトメタニューモウイルス抗原専用綿棒	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	RSウイルス抗原、ヒトメタニューモウイルス抗原	

容器番号	容器	備考
33	A群β溶連菌抗原専用綿棒	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	A群β溶連菌抗原	

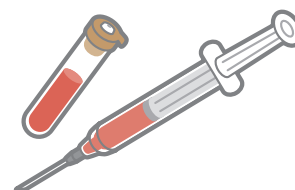
容器番号	容器	備考
34	鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原専用綿棒	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原	

資 料

ICGの検体採取方法



採取した血液(負荷前・5分・10分・15分)をご提出ください。
4本揃っていないと受付不可となります。
採血時に溶血しないようご注意ください。
採血時間は正確にお願いします。
採血が予定時間からはずれた場合はその時間をお知らせください。



資料

クレアチニン・クリアランスの検体採取方法

120分法

排尿後、微温水**500mL**を飲ませてください

60分

飲水後、約**60分後**に完全排尿させ、
排尿後より検査開始となります

30分

開始**30分後**に**2mL**採血します

血液①

30分

開始後**60分後**に尿を全量採取し、
尿量を記録、その中から**5mL**提出します

尿①

30分

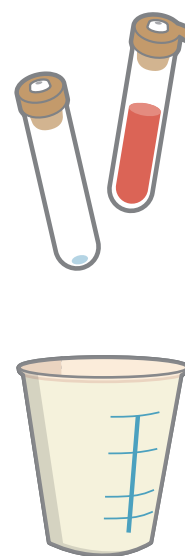
開始後**90分後**にもう一度**2mL**採血します

血液②

30分

開始後**120分後**にもう一度尿を全量採取し、
尿量を記録、その中から**5mL**提出します

尿②



24時間法

24時間

一旦、完全排尿させます

排尿後より検査開始となり、
以後**24時間後**までの全ての尿を畜尿します

畜尿している**24時間**の食前に2mL採血します

血液

畜尿終了時に正確に尿量を記録し、
その中から**5mL**提出します

尿

採取した血液及び尿をそれぞれご提出ください。
120分法(血液①②、尿①②) 24時間法(血液、尿)
提出の際には身長・体重・尿量を必ず明記してください。

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

血液学検査

血液一般検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
21081	白血球数 (WBC)	EDTA加血液 2	02 または 09	冷蔵	自動血球計数 装置使用 （電気抵抗法 シアノメト ヘモグロビン法 (HGB)）	3.3～8.6 ($\times 10^3$ / μ L)	1～2	実施料は 「末梢血液一般検査」として 一連の算定 脚注参照※1
	赤血球数 (RBC)					M:435～555 F:386～492 ($\times 10^4$ / μ L)		
	ヘモグロビン (HGB)					M:13.7～16.8 F:11.6～14.8 (g/dL)		
	ヘマトクリット (Hct)					M:40.7～50.1 F:35.1～44.4 (%)		
	平均赤血球容積 (MCV)					83.6～98.2 (fL)		
	平均赤血球血色素量 (MCH)					27.5～33.2 (pg)		
	平均赤血球血色素濃度 (MCHC)					31.7～35.3 (%)		
	血小板数 (PLT)					15.8～34.8 ($\times 10^4$ / μ L)		
	赤血球分布幅 (RDW)							
	血小板クリット (PcT)							
	平均血小板容積 (MPV)							
	血小板体積分布幅 (PDW)							
	末梢血一般検査							
21001	網赤血球数 (RET)	EDTA加血液 2	02 または 09	冷蔵	自動血球計数 装置使用 フローサイトメリー 目視法 (鏡検)	4～17 (%)	1～2	●採血後8時間以上のものは、血球形態破壊が著しくなるため検査不能になることがあります。できるだけ早くご提出ください。 脚注参照※1
21086	血液像 (機械法)	EDTA加血液 2	02 または 09	冷蔵	自動血球計数 装置使用 フローサイトメリー	●NE(好中球): 28.0～77.0 ●LY(リンパ球): 17.0～57.0 ●MO(単球): 0.0～10.0 ●EO(好酸球): 0.0～10.0 ●BA(好塩基球): 0.0～2.0 ●Atypical Lymphocyte (異型リンパ球): 0.0 ●Blast(芽球): 0.0 ●Promyelocyte (前骨髄球): 0.0 ●Myelocyte (骨髄球): 0.0 ●Metamyelocyte (後骨髄球): 0.0 (%)	1～2	●採血後8時間以上のものは、血球形態破壊が著しくなるため検査不能になることがあります。できるだけ早くご提出ください。 ●血液塗抹標本を提出する場合は、ダイヤモンドペン又は鉛筆で患者氏名をご記入の上ケースに収納してご提出ください。ケースには施設名、提出日、患者名を明記したラベルをお貼りください。 ●血液像 (機械法) では5分類 (NE、LY、MO、EO、BA) での結果報告となります。 ●BandとSegはNeut(好中球)として一括表示されます。但し目視法 (鏡検) の際は個別に表示されます。 脚注参照※1
21087	末梢血液像検査				自動血球計数 装置使用 フローサイトメリー 目視法 (鏡検)			

※1 受け入れ不可検体
・凝固検体 ・凝集検体 ・強度溶血、乳び検体 ・凍結検体 ・遠心後検体 ・長期保存検体 ・規定外容器検体 ・微量検体

凝固線溶系検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
22081	プロトロンビン時間 (PT)	血液1.8 遠心↓ クエン酸血漿0.5	04 または 10	遠心後 血漿を -40℃ に凍結 ※2	凝固時間法	活性:80.0~120.0(%) 秒:10.5~13.0(秒) INR:0.85~1.15 PT比:0.85~1.15	1~2	脚注参照※1
22003	活性化部分 トロンボプラスチン 時間 (APTT)	血液1.8 遠心↓ クエン酸血漿0.5			凝固時間法	24.6~33.5 (秒)	1~2	脚注参照※1
22004	フィブリノーゲン (FIB)	血液1.8 遠心↓ クエン酸血漿0.5			凝固時間法	200~400 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
22014	Dダイマー	血液1.8 遠心↓ クエン酸血漿0.5			比色法 (ラテックス 免疫比濁法)	1.0以下 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
22016	FDP	血液1.8 遠心↓ クエン酸血漿0.5			比色法 (ラテックス 免疫比濁法)	5.0未満 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
22015	クロスミキシング試験	血液4.5 遠心↓ クエン酸血漿1.5	44	遠心後 血漿を -80℃ に凍結 ※2	凝固時間法		1~3	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 ・凝固、凝集検体 ・強度乳び、溶血検体 ・クエン酸加血漿以外の検体 ・規定量でない検体
 ※2 遠心条件は3240 rpm(2000G)10分

容器番号	容 器	備 考
02	紫:EDTA加 (EDTA2K)	
	容量	2mL
	添加剤	EDTA2K
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア	

容器番号	容 器	備 考
04	黒:クエン酸加 (3.2%クエン酸Na)	
	容量	2mL
	添加剤	3.2%クエン酸Na
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	凝固線溶系検査	

容器番号	容 器	備 考
09	紫:EDTA加 (EDTA2K・ミニコレクト)	
	容量	500μL
	添加剤	EDTA2K
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア	

容器番号	容 器	備 考
10	水色:クエン酸加 (3.2%クエン酸Na・ミニコレクト)	
	容量	1mL
	添加剤	3.2%クエン酸Na
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	凝固線溶系検査	

容器番号	容 器	備 考
44	ニプロ ネオチューブ NP-CW0457-1 (3.2%クエン酸Na)	
	容量	4.5mL
	添加剤	3.2%クエン酸Na
	保管方法	常温
	有効期間	1年 (個包装)
主な検査項目	クロスミキシング試験	

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

血液学検査

用手系検査

	項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
用手系検査	22011	赤血球浸透圧 脆弱性試験 (赤血球抵抗試験)	ヘパリン加血液 2	07	不可	サンフォード法	最小抵抗: 0.46~0.40 最大抵抗: 0.36~0.30 抵抗幅: 0.08~0.12 (%)	1~2	脚注参照※1
	16484	気管支肺胞洗浄液 (BAL) 検査	気管支肺胞 洗浄液 (BAL)	11		細胞数算定 電気抵抗法 Fuchs-Rosenthal法 細胞分類 目視法		1~2	脚注参照※2

※1 受け入れ不可検体 ・溶血検体 ・古い検体 ・凝固検体
※2 受け入れ不可検体 ・気管支肺胞洗浄液 (BAL) 以外の検体 ・抗凝固剤の入っている検体

容器番号	容 器	備 考
07	緑・ヘパリン加	
	容量	5mL
	添加剤	ヘパリン
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	血球計算、生化学・免疫項目 (項目限定)	

容器番号	容 器	備 考
11	気管吸引キット	
	容量	50mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	気管支肺胞洗浄液 (BAL) 検査	

貧血の分類

赤血球恒数		分類	その他の検査所見			病態と原因
MCV (fL)	MCHC (%)					
80以下	30以下	小球性 低色素性 貧血	Fe	UIBC	フェリチン	
			↓	↑	↓	鉄欠乏性貧血、慢性出血
			↓	↓	↑	慢性感染症、慢性炎症
			↑	↓	↑	一部の鉄芽球性貧血
			↑	↓	↑	サラセミア
80～100	31～36	正球性 貧血	網赤	白血球	血小板	
			↓	↓	↓	再生不良性貧血
			*	→	→	脾機能亢進症
			*	*	↓	急性白血病
			*	↑	*	慢性白血病
↓	↓	↓	骨髓線維症			
80～100 または 101以上 ^{注1)}	31～36	正球性 または 大球性 貧血	網赤	Coombs		
			↑	+		自己免疫性溶血性貧血
			↑	+		薬剤性溶血性貧血
			↑	+		遺伝(先天)性溶血性貧血
			↑	—		発作性夜間ヘモグロビン尿症 ^{注2)}
101以上	31～36	大球性 貧血	骨髓巨赤芽球	VB12	葉酸	
			+	↓	→	悪性貧血
			+	↓	→	胃全摘後巨赤芽球性貧血
			+	↓	→	回腸切除後巨赤芽球性貧血
			+	→	↓	葉酸欠乏性巨赤芽球性貧血
			+	*	*	赤白血病
			—	*	*	肝硬変、甲状腺機能低下症

《略称説明》

MCV:平均赤血球容積、MCHC:平均赤血球色素濃度、Fe:血清鉄、UIBC:不飽和鉄結合能、
網赤:網赤血球、Coombs:Coombs 試験(抗グロブリン試験)、VB12:血清ビタミンB12

↑:上昇・増加、→:正常範囲、↓:低下・減少、*:特異的な変動なくさまざま

注1)網赤血球が著増しているとき

注2)通常は小球性低色素性のことが多く、発作時に大球性

日本臨床病理学会編:日常初期診療における臨床検査の使い方.血液・造血器疾患(案). 1992より引用

クロスミキシング試験のグラフ判定

①凝固因子欠乏症

正常血漿の添加で速やかにAPTTは是正され短縮するので、下に凸の曲線を示す。肝硬変、ビタミンK欠乏、血友病A、血友病Bなどがこのパターンになる。

②凝固因子インヒビター

正常血漿の混合比を高くしても正常血漿中の凝固因子活性を阻害するため、APTTは是正されず、上に凸の曲線を示す。
第Ⅷ因子インヒビターの場合は、温度および時間依存性に阻害反応を示すので遅延型で上に凸の曲線が明瞭になる。

③ループスアンチコアグラント

正常血漿を添加してもAPTTは是正されにくく、上に凸の曲線を示す。
ループスアンチコアグラントはAPTT測定中に反応するので、即時型と遅延型で差が少ない。

臨床症状	即時反応	遅延反応	判定	対応
出血傾向／無症状	下に凸	下に凸	凝固因子の欠乏	凝固因子定量
	下に凸	上に凸・直線	遅延型の凝固因子 インヒビター	凝固因子インヒビター定量
	上に凸・直線	上に凸・直線	即時型の凝固因子 インヒビターの可能性	
血栓傾向／無症状	上に凸・直線	上に凸・直線	ループスアンチ コアグラントの可能性	抗リン脂質抗体測定

生化学検査

蛋白、酵素関連物質

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
蛋白	31011 総蛋白 (TP)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	ビウレット法	6.6～8.1 (g/dL)	1～2	脚注参照※1
	31046 アルブミン (ALB)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			BCP改良法	4.1～5.1 (g/dL)	1～2	脚注参照※1
	— A/G	—			計算法		1～2	TP、ALBを分析時に 報告可能です。

酵素関連物質	31020 総ビリルビン (T-Bil)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	バナジン酸 酸化法	0.4～1.5 (mg/dL)	1～2	脚注参照※1
	31021 直接ビリルビン (D-Bil)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			バナジン酸 酸化法	0.0～0.6 (mg/dL)	1～2	脚注参照※1
	31049 間接ビリルビン (I-Bil)	—			計算法		1～2	T-Bil、D-Bilを分析時に 報告可能です。
	31001 アスパラギン酸アミノ トランスフェラーゼ (AST)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	JSCC 標準化対応法	13～30 (U/L)	1～2	溶血血清では著明高値を示し、 参考値になる可能性があります。 脚注参照※1
	31002 アラニンアミノトランス フェラーゼ (ALT)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			JSCC 標準化対応法	M:10～42 F:7～23 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	31003 乳酸脱水素酵素 (LD (LDH))	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			IFCC 標準化対応法	124～222 (U/L)	1～2	溶血血清では著明高値を示し、 参考値になる可能性があります。 脚注参照※1
	31004 アルカリホスファターゼ (ALP)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			IFCC 標準化対応法	38～113 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	31005 ガンマ-グルタミルトランス ペプチダーゼ (γ-GT)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			JSCC 標準化対応法	M:13～64 F:9～32 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	31006 コリンエステラーゼ (ChE)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			JSCC標準化対応法 (p-ヒドロキシベン ゾイルコリン基質)	M:240～486 F:201～421 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	31007 クレアチンキナーゼ (CK)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			JSCC 標準化対応法	M:59～248 F:41～153 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	31034 アミラーゼ (AMY)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			JSCC 標準化対応法	44～132 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	31035 膵臓由来アミラーゼ (P-AMY)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			免疫阻害法	17～53 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	31044 リパーゼ (LIP)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			DGGM (合成基質) レート法	13～55 (U/L)	1～2	脚注参照※1
	32031 ペプシノゲン (PG)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 凝集免疫比濁法	陰性 (—)	1～2	脚注参照※1 陽性:血清ペプシノゲンI値70.0 ng/mL以下かつI/II比3.0以下

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

低分子窒素化合物、その他

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
31014 31043	クレアチニン (CRE)	血液2 遠心↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	酵素法	M:0.65~1.07 F:0.46~0.79 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
—	糸球体ろ過量 (eGFR)	—	—	—	計算法		1~2	クレアチニンを分析時に 報告可能です。 性別・年齢が必要です。
31015	尿酸 (UA)	血液2 遠心↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	ウリカーゼ・ ペルオキシダーゼ法	M:3.7~7.0 F:2.6~7.0 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
31013	尿素窒素 (UN)	血液2 遠心↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	ウレアーゼUV法・ アンモニア消去法	8~20 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
15087	インドシアニングリーン 試験 (ICG)	血液 各3 遠心↓ 血清 1	01	室温	吸光度測定法	15分停滞率 0~10 (%) K値 0.168~0.206	1	*ICG投与前、投与後5分、 10分、15分後に採血し、 計4本ご提出ください。採 血後遠心せずに速やかに ご提出ください。 *受け入れ不可検体:血清以外、 4本全て揃っていない場合。 検体採取法はP.18を参照。
11084	浸透圧 (尿)	尿 (蓄尿以外) 2	13 または 16 または 17 または 18	冷蔵 または 凍結	氷点降下法	50~1300 (水分摂取制限なしの場合) (mOsm/Kg・H ₂ O)	1~2	*3日未満は冷蔵。 3日以上保存する場合は 凍結保存。 *受け入れ不可検体:尿以外 の検体、室温放置した検体
31047	浸透圧 (血清)	血液 5 遠心↓ 血清 2	01 または 08	冷蔵 または 凍結	氷点降下法	275~290 (mOsm/Kg・H ₂ O)	1~2	*3日未満は冷蔵。 3日以上保存する場合は 凍結保存。 *受け入れ不可検体:血清以外 の検体、室温放置した検体

容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
		容量 6mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
		容量 800μL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

生化学検査

電解質、生体微量金属、ビタミン

	項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
電 解 質	31024	ナトリウム (Na)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	イオン選択性 電極による希釈法	138~145 (mmol/L)	1~2	脚注参照※1
	31025	カリウム (K)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			イオン選択性 電極による希釈法	3.6~4.8 (mmol/L)	1~2	溶血血清では著明高値を示し、参考値になる可能性があります。 脚注参照※1
	31026	クロール (Cl)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			イオン選択性 電極による希釈法	101~108 (mmol/L)	1~2	脚注参照※1
生 体 微 量 金 属	31027	カルシウム (Ca)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	アルセナゾⅢ法	8.8~10.1 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	31028	無機リン (IP)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			酵素法	2.7~4.6 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	31029	血清鉄 (Fe)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			Nitroso- PSAP法	40~188 (μg/dL)	1~2	脚注参照※1
	31030	不飽和鉄結合能 (UIBC)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			Nitroso- PSAP法	104~325 (μg/dL)	1~2	脚注参照※1
	—	総鉄結合能 (TIBC)	—	—	—	計算法		1~2	Fe、UIBCを分析時に報告可能です。
	31051	マグネシウム (Mg)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	酵素法	1.8~2.4 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	31050	亜鉛 (Zn)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	直接法 (5-Br-PAPS)	80~130 (μg/dL)	1~2	脚注参照※1
ビ タ ミ ン	33013	ビタミンB12 (VB12)	血液2 遠心 ↓ 血清0.6	01 または 08	凍結	ECLIA	197~771 (pg/mL)	1~2	脚注参照※1
	33014	葉酸 (FolateBA)	血液2 遠心 ↓ 血清0.6			ECLIA	3.9~26.8 (ng/mL)	1~2	溶血血清では高値を示します。 脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

糖質関連物質、脂質関連物質

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
備考欄 参照	グルコース負荷試験 (75g OGTT)	血液 2 遠心 ↓ NaF血漿 1	03	冷蔵	酵素法 (ヘキソキナーゼ法)	正常型 空腹時値 110未満 かつ 2時間値 140未満 糖尿病型 空腹時値126以上 または 2時間値 200以上 (mg/dL)	1～2	【項目コード】 負荷前:35016 負荷後30分:35017 負荷後60分:35018 負荷後90分:35019 負荷後120分:35020 負荷後180分:35021 脚注参照※1、2、3
35040	妊婦糖負荷試験 (50g 60min)				酵素法 (ヘキソキナーゼ法)	140未満 (mg/dL)	1～2	脚注参照※1、2、3
35001	血糖精査 (GLU)				酵素法 (ヘキソキナーゼ法)	73～109(血漿) (mg/dL)	1～2	基準値は空腹時 脚注参照※1、2
35082	HbA1c (NGSP表記)				HPLC法	4.9～6.0 (%)	1～2	脚注参照※4
35084 35085 35087	HbA1c (NGSP表記)				酵素法	4.9～6.0 (%)	1～2	※健診検体 脚注参照※1
35086	HbA1c (JDS表記)				酵素法	4.3～5.8 (%)	1～2	NGSPからの換算値 ※健診検体 脚注参照※1
35100	グリコアルブミン (GA)				酵素法	12.3～16.5 (%)	1～2	脚注参照※1
31033	糖スクリーニング (S-GLU)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	酵素法 (ヘキソキナーゼ法)	73～109 (mg/dL)	1～2	基準値は空腹時です。 脚注参照※5
31045	KL-6	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			ラテックス 比濁法	105.3～401.2 (U/mL)	1～2	脚注参照※5

※1 受け入れ不可検体 ・強度溶血、乳び検体 ・凍結検体 ・規定外容器検体 ※2 10時間以上絶食後実施 ※3 検査中の食事、運動不可
※4 受け入れ不可検体 ・凝固検体 ・凍結検体 ・規定外容器検体 ・長期保存検体 ※5 受け入れ不可検体 ・規格外容器検体

脂質関連物質	31017	中性脂肪 (TG)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	遊離グリセ ロール消去法	M:40～149 F:30～149 (mg/dL)	1～2	基準値は年齢により差が あります。 脚注参照※1
	31016	総コレステロール (T-Cho)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			コレステロール 酸化酵素法	142～219 (mg/dL)	1～2	基準値は年齢により差が あります。 脚注参照※1
	31018	HDLコレステロール (HDL-C)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5			選択的抑制法	M:40～90 F:40～103 (mg/dL)	1～2	基準値は年齢により若干差 があります。 脚注参照※1
	31071	non-HDLコレステロール (non-HLD-C)	—	—	—	計算法		1～2	T-Cho、HDL-Cを分析時に 報告可能です。
	31019	LDLコレステロール (LDL-C)	血液2 遠心 ↓ 血清0.5	01 または 08	冷蔵	選択的 可溶化法	65～139 (mg/dL)	1～2	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
		容量 6mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
03	灰:NaF加 (EDTA2K・NaF入)	
		容量 2mL 添加剤 EDTA2K・NaF 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	血糖、HbA1c	

容器番号	容 器	備 考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
		容量 800μL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

資料

ペプシノゲン(PG)による胃粘膜萎縮度の判定基準

判定		測定値	
		PGI(ng/mL)	I/II比
陽性	(+)	70.0以下	かつ 3.0以下
陰性	(-)	上記条件以外	

ABC分類の判定基準と胃の健康度

【ABC分類の判定基準】

		ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査	
		(-)	(+)
ペプシノゲン 検査	(-)	A	B
	(+)	D	C

※H.ピロリ抗体(HPAb)は、10.0 U/mL以上を(+)と判定しています。判定には、「胃がんリスク層別化検査(ABC分類) 2016年度改訂版」の臨床診断基準を用いています。
陰性高値群(HPAb=3.0~9.9 U/mL)は、定量値でご確認ください。

【胃の健康度】

A群:健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。
B群:少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
C群:弱った胃です。内視鏡による定期的検査を受診しましょう。
D群:かなり弱った胃です。必ず内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

eGFR値 腎機能の評価は18歳以上に適用されます

【eGFR:血清クレアチニン(CRE)に基づくGFR(糸球体濾過量)の推算式】

男性:eGFR(mL/min/1.73m²)=194×CRE^{-1.094}×年齢^{-0.287}
女性:eGFR(mL/min/1.73m²)=194×CRE^{-1.094}×年齢^{-0.287}×0.739

※GFRの単位中で、“1.73m²”は日本人の健康成人における平均体表面積を意味します。

【CKD(慢性腎臓病)の定義】

- ①尿異常・画像診断・血液・病理で腎障害の存在が明らか。特に蛋白尿の存在(0.15g/gCRE)以上が重要。
 - ②GFR<60mL/min/1.73m²
- ①、②のいずれか、または両方が3ヶ月以上持続する。

【CKDの重症度分類】

原疾患		蛋白尿区分		A1	A2	A3
糖尿病		尿アルブミン定量(mg/日)		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		尿アルブミン/CRE比(mg/gCRE)		30未満	30~299	300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他		尿蛋白定量(g/日)		正常	軽度蛋白尿	重度蛋白尿
		尿蛋白/CRE比(g/gCRE)		0.15未満	0.15~0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/min /1.73m ²)	G1	正常または高値	≥90			
	G2	正常または軽度低下	60~89			
	G3a	軽度~中等度低下	45~59			
	G3b	中等度~高度低下	30~44			
	G4	高度低下	15~29			
	G5	末期腎不全	<15			

重症度は原疾患・GFR区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価する。
CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを緑のステージを基準に、黄、オレンジ、赤の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

HbA1cの測定法について

HPLC法

血液中のHbA1cを、逆相分配陽イオン交換クロマトグラフィーにより測定します。溶血洗浄液で希釈・溶血された検体がカラムに送り込まれ、高速液体クロマトグラフィーにより数種のヘモグロビン成分に分画溶出されます。溶出された各成分は二波長比色計で測定され、そのデータをマイクロコンピュータで処理し、各成分のピークの同定と含有率を算出します。

酵素法

第一反応では、プロテアーゼの作用によりHbA1cのβ鎖N末端に由来する糖化ジペプチドを切り出すと同時に所定波長における吸光度よりHb濃度を求めます。第二反応では糖化ジペプチドにフルクトシルペプチドオキシダーゼ(FPOX)を作用させ、生成した過酸化水素がパーオキシダーゼ(POD)の存在下で発色剤を発色させます。この吸光度を測定することによりHbA1c濃度を求めます。求めたHbA1c濃度とHb濃度からHbA1c(%)を算出します。

LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、non-HDLコレステロール

【脂質異常症の診断基準(空腹時採血)】

LDLコレステロール (LDL-C)	140 mg/dL以上	高LDLコレステロール血症
	120～139 mg/dL	境界域高LDLコレステロール血症
HDLコレステロール (HDL-C)	40 mg/dL未満	低HDLコレステロール血症
中性脂肪 (TG)	150 mg/dL以上	高トリグリセライド血症
non-HDL コレステロール (non-HDL-C)	170 mg/dL以上	高non-HDLコレステロール血症
	150～169 mg/dL	境界域高non-HDLコレステロール血症

※日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療のエッセンス」より引用。
 TG<400 mg/dLのとき: LDL-CはFriedewaldの式($T\text{-Cho} - \text{HDL-C} - \text{TG}/5$)を用いて算出する。
 弊社のLDL-C測定法(直説法・選択的可溶化法)を用いることも可能。
 TG≥400 mg/dLのとき: LDL-Cの算出に、Friedewaldの式を用いることはできない。
 LDL-Cの測定が必要。
 食後採血: non-HDL-Cを用いて評価可能。

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

免疫血清学検査

感染症関連検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
32012	抗streptリジンO抗体 (ASO)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	ラテックス 免疫比濁法	200未満 (IU/mL)	1~2	脚注参照※1
32059	抗streptキナーゼ抗体 (ASK)	血液 1 遠心 ↓ 血清 0.3			PA	1,280以下 (倍)	1~2	脚注参照※1
32055	RPR定性	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 比濁法	陰性(-)	1~2	脚注参照※1
32056	RPR定量	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 比濁法	1.0未満 (R.U.)	1~2	脚注参照※1
32075	梅毒抗体定性 (TPAb定性)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 比濁法	陰性(-)	1~2	脚注参照※1
32076	梅毒抗体定量 (TPAb定量)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 比濁法	1.00未満 (COI)	1~2	脚注参照※1
32060	マイコプラズマ抗体 (MYCO)	血液 1 遠心 ↓ 血清 0.3			PA	40未満 (倍)	1~2	脚注参照※1
32061	寒冷凝集反応 (CHA)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			赤血球 凝集反応	128以下 (倍)	1~2	採血後、速やかに血清分離 してください。 脚注参照※1
32008	β2ミクログロブリン (β2MG)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 免疫比濁法	2.0未満 (mg/L)	1~2	脚注参照※1
33108	プロカルシトニン (PCT)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.6	40	凍結	CLIA	0.50未満 (ng/mL)	1~2	脚注参照※1
32087	H. ピロリ抗体 (HPAb) 定性 定量	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5		冷蔵	ラテックス 凝集免疫 比濁法	陰性(-) 10.0未満(U/mL)	1~2	脚注参照※1
33033	β-D-グルカン	血液 2 遠心 ↓ 血漿 0.5		冷蔵 24時間 以内 または 凍結	比濁時間 分析法	11未満 (pg/mL)	1~2	真空採血(シリンジ採血不可) 脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

免疫グロブリン、補体、自己免疫関連検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
免疫グロブリン	32001 IgG (免疫グロブリンG)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	免疫比濁法	861~1747 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	32002 IgA (免疫グロブリンA)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			免疫比濁法	93~393 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	32003 IgM (免疫グロブリンM)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			免疫比濁法	M:33~183 F:50~269 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
補体	32005 C3	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	凍結	免疫比濁法	73~138 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	32006 C4	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			免疫比濁法	11~31 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	32007 補体価 (CH50)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			リボソーム免疫 測定法	30~45 (U/mL)	1~2	脚注参照※1
自己免疫関連検査	32011 リウマチ因子 (RF)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	ラテックス 免疫比濁法	15未満 (IU/mL)	1~2	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
		容量 6mL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	
容器番号	容 器	備 考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
		容量 800μL 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	
容器番号	容 器	備 考
40	β-D-グルカン専用 (ヘパリンNa)	
		容量 3mL 添加剤 ヘパリンNa 保管方法 常温 有効期間 1年
主な検査項目	β-Dグルカン	
容器番号	容 器	備 考
32	RSウイルス・インフルエンザ・SARS-CoV-2 ヒトメタニューモウイルス抗原専用綿棒	
		容量 — 添加剤 — 保管方法 常温 有効期間 —
主な検査項目	RSウイルス抗原、ヒトメタニューモウイルス抗原	

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

免疫血清学検査

血漿蛋白、血液型検査

	項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
血漿蛋白	33109	フェリチン (FER)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	CLIA	M:21.8~274.7 F: 4.6~204.0 (ng/mL)	1~2	女性では基準値が年齢により若干異なります。 脚注参照※1
	31032	CRP	血液 1 遠心 ↓ 血清 0.3			ラテックス 免疫比濁法	0.15未満 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	31058	高感度トロポニンI	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	凍結	CLIA	26未満 (pg/mL)	1~2	脚注参照※1
	31052	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)	血液 2 遠心 ↓ 血漿 0.5			CLIA	18.4 以下 (pg/mL)	1~2	脚注参照※1
	32032	ハプトグロビン (Hp)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	免疫比濁法	30~200 (mg/dL)	1~2	脚注参照※1
	33015	脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ECLIA	125未満 (pg/mL)	1~2	脚注参照※1、3

血液型検査	40081	ABO式血液型	血液型専用 2	05	冷蔵	試験管法		1~2	脚注参照※2
	40001	Rh式血液型	血液型専用 2			試験管法		1~2	脚注参照※2

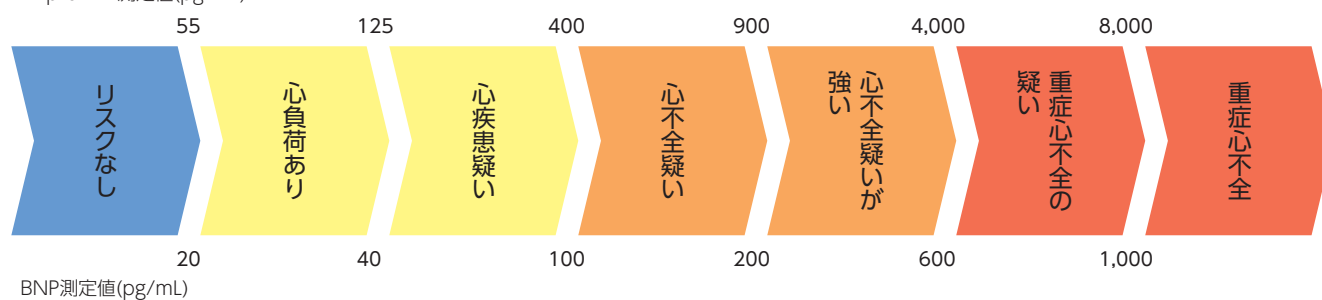
※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

※2 受け入れ不可検体 ・凍結検体 ・規定外容器検体

※3 不定期測定項目につき、ご依頼の際は事前にお問い合わせ下さい。

NTproBNPの測定値と慢性心不全の診断指標

NT-proBNP測定値(pg/mL)



容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
	容量 6mL	
	添加剤 ー	
	保管方法 常温	
	有効期間 1年	
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
02	紫:EDTA加 (EDTA2K)	
	容量 2mL	
	添加剤 EDTA2K	
	保管方法 常温	
	有効期間 1年	
主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア	

容器番号	容 器	備 考
05	赤:血液型専用 (EDTA2K)	
	容量 2mL	
	添加剤 EDTA2K	
	保管方法 常温	
	有効期間 1年	
主な検査項目	血液型検査	

容器番号	容 器	備 考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
	容量 800μL	
	添加剤 ー	
	保管方法 常温	
	有効期間 1年	
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
09	紫:EDTA加 (EDTA2K・ミニコレクト)	
	容量 500μL	
	添加剤 EDTA2K	
	保管方法 常温	
	有効期間 1年	
主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア	

アレルギー検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
アレルギー検査	34400 非特異的IgE (総IgE、tIgE)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	FEIA	1歳未満 20以下 1～3歳 30以下 4～6歳 110以下 7歳～成人 170以下 (IU/mL)	1～3	脚注参照※1、2
	— 特異的IgE (sIgE)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			FEIA	0 (クラス) Arah2 陰性	1～3	脚注参照※1、2

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体
※2 最低必要量 150uL+1テストにつき40uL

特異的IgE

項目コード	アレルゲン名	項目コード	アレルゲン名	項目コード	アレルゲン名
＜食餌性アレルゲン＞		＜室内塵＞		＜動物表皮＞	
34401	卵白	34489	ハウスダスト1	34475	ネコ皮膚
34402	牛乳	34490	ハウスダスト2	34476	イヌ皮膚
34404	小麦	＜昆虫＞		＜マルチアレルゲン＞	
34406	米	34529	ガ	34517	カビマルチ
34408	ソバ	＜樹木花粉＞		＜その他＞	
34411	大豆	34449	ハンノキ(属)	34493	黄色ブドウ球菌 エンテロトキシンA
34415	エビ	34459	スギ		
34435	オボムコイド	34460	ヒノキ		
34403	タラ	＜イネ科植物＞			
34407	ゴマ	34436	ハルガヤ		
34410	ピーナッツ	34438	カモガヤ		
34413	アーモンド	＜雑草花粉＞			
34414	カニ	34461	ブタクサ		
34417	豚肉	34464	ヨモギ		
34422	マグロ	＜真菌＞			
34423	サケ	34485	アスペルギルス		
34426	リンゴ	34486	カンジダ		
34518	サバ	34487	アルテルナリア		
34519	イカ	34488	マラセチア		
34520	アジ	＜ダニ＞			
34427	卵黄	34470	ヤケヒョウヒダニ		
34429	グルテン	34471	コナヒョウヒダニ		
34523	チーズ	＜アレルゲンコンポーネント＞			
34432	鶏肉	34521	α-ラクトアルブミン(牛乳由来)		
34433	キウイ	34522	β-ラクトグロブリン(牛乳由来)		
34524	メロン	34428	カゼイン(牛乳由来)		
34525	バナナ	34495	ω-5グリアジン(小麦由来)		
34526	モモ	34496	Ara h 2(ピーナッツ由来)		
34497	カシューナッツ	34530	Gly m 4(大豆由来)		
34527	クルミ	34531	Jug r 1(クルミ由来)		
34528	イクラ	34532	Ana o 3(カシューナッツ由来)		

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

血液型検査の留意点

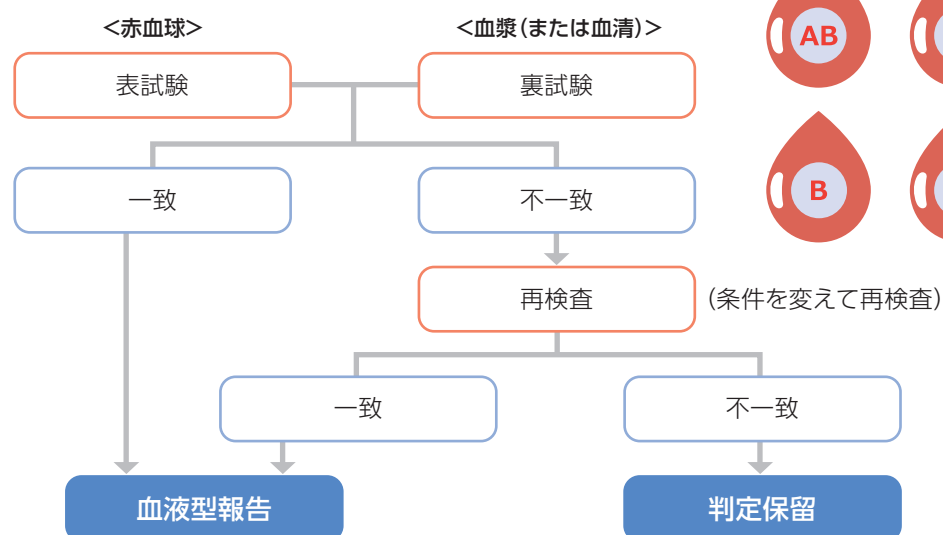
ABO式血液型

- 1) 生後1歳までは、血漿(または血清)中の抗体価が低いいため表試験のみでの報告となります。
1歳未満の幼児の場合、必ず月齢あるいは生年月日を検査依頼書にご記入ください。
- 2) 表試験・裏試験の結果が一致した場合のみ、血液型を報告致します。
- 3) 表試験・裏試験が一致しない場合、反応が通常と異なる場合には「判定保留」と報告致します。
- 4) 異型輸血や造血細胞移植後などの検体では、正しく判定できない場合があります。
- 5) 一部の重型やキメラ・モザイクなどの場合、正しく判定できない場合があります。
- 6) 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますので、ご注意ください。

Rh式血液型

- 1) Rh式血液型の変異型の検索は実施しておりません。
- 2) 抗Dには、ポリクローナル抗体を使用しています。
- 3) 異型輸血や造血細胞移植後などの検体では、正しく判定できない場合があります。
- 4) D陰性確認試験は、試験管法を実施致します。
- 5) 検査案内書に記載された要件と異なる検体材料種・量・容器にてのご依頼に対しては、検査を受託できない場合がありますので、ご注意ください。

ABO式血液型検査手順



Rh式血液型に関してご不明な点は当社までお問い合わせください。

特異的IgE判定基準

Arah2以外の58項目

IgE抗体濃度(UA/mL)	クラス	判定
100≦	Ⅵ	陽性
50～99.99	Ⅴ	
17.5～49.99	Ⅳ	
3.5～17.49	Ⅲ	
0.7～3.49	Ⅱ	
0.35～0.69	I	疑陽性
<0.35	0	陰性

Arah2

IgE抗体濃度(UA/mL)	判定
4.0≦	陽性
0.35～3.99	疑陽性
<0.35	陰性

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

内分泌学検査

内分泌学検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
33010	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.6	01 または 08	冷蔵	ECLIA	0.50～5.00(μIU/mL)	1～2	脚注参照※1
33011	遊離トリヨード サイロニン(FT ₃)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ECLIA	2.30～4.00(pg/mL)	1～2	脚注参照※1
33012	遊離サイロキシシン(FT ₄)					0.90～1.70 (ng/dL)		
33101	黄体形成ホルモン (LH)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	〈非妊婦〉 卵胞期 1.80～11.78 排卵期 7.59～89.08 黄体期 0.56～14.00 〈閉経女性〉 5.16～61.99 〈男性〉 0.57～12.07 (mIU/mL)	1～2	脚注参照※1
33102	卵胞刺激ホルモン (FSH)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.6			CLIA	〈非妊婦〉 卵胞期 3.03～8.08 排卵期 2.55～16.69 黄体期 1.38～5.47 〈閉経女性〉 26.72～133.41 〈男性〉 0.95～11.95 (mIU/mL)	1～2	脚注参照※1
33103	プロラクチン (PRL)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	女性 5.2～26.5 男性 3.5～19.4 (ng/mL)	1～2	脚注参照※1
33104	プロゲステロン (PRGE)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	〈正常な月経周期の女性〉 卵胞期 0.3以下 黄体期 1.2～15.9 〈閉経女性〉 0.2以下 〈男性〉 0.2以下 〈妊娠女性〉 妊娠初期 2.8～147.3 妊娠中期 22.5～95.3 妊娠後期 27.9～242.5 (ng/mL)	1～2	脚注参照※1
33106	ヒト絨毛性 ゴナドトロピン (HCG)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	〈健常非妊婦女性、 閉経女性、男性〉 5未満 〈妊娠期間〉 1～10週 202～231000 11～15週 22536～234990 16～22週 8007～50064 23～40週 1600～49413 (mIU/mL)	1～2	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

内分泌学検査



	項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
内分泌学検査	33105	テストステロン (TESTO)	血液 2 速心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	CLIA	〈男性21～49歳〉 240.24～870.68 〈男性50歳以上〉 220.91～715.81 〈女性21～49歳〉 13.84～53.35 〈女性50歳以上〉 12.40～35.76 〈男児 tanner 分類〉 第1期 2.52～29.29 第2期 3.86～278.59 第3期 8.91～655.39 第4期 19.96～754.45 第5期 16.64～902.09 〈女児 tanner 分類〉 第1期 1.18～32.30 第2期 5.05～22.21 第3期 7.43～41.24 第4期 15.29～53.64 第5期 17.02～98.78 (ng/dL)	1～2	脚注参照※1
	33107	エストラジオール (E2)	血液 2 速心 ↓ 血清 0.5			CLIA	〈有経女性〉 卵胞期 21～251 排卵期 38～649 黄体期 21～312 〈閉経女性〉 ホルモン補充療法なし <10～28 ホルモン補充療法中 <10～144 〈男性〉 11～44 (pg/mL)	1～2	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
	容量	6mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
	容量	800μL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

- 一般検査
- 血液学検査
- 生化学検査
- 免疫血清学検査
- 内分泌学検査
- 腫瘍関連検査
- ウイルス学検査
- 薬物検査
- 微生物学検査
- その他

腫瘍関連検査

腫瘍関連検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
32021	α-フェトプロテイン (AFP)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	CLIA	10.0未満 (ng/mL)	1~2	脚注参照※1
32022	癌胎児性抗原 (CEA)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	5.0未満 (ng/mL)	1~2	脚注参照※1
32023	CA19-9	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	37未満 (U/mL)	1~2	脚注参照※1
32025	前立腺特異抗原 (PSA)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	4.00未満 (ng/mL)	1~2	脚注参照※1
32027	CA125	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	35未満 (U/mL)	1~2	脚注参照※1
32028	CA15-3	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	31.3未満 (U/mL)	1~2	脚注参照※1
32030	SCC	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	1.5未満 (ng/mL)	1~2	脚注参照※1
33301	IL-2R	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 凝集免疫 比濁法	122~496 (U/mL)	1~2	脚注参照※1
32020	PIVKA-II	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			CLIA	40未満 (mAU/mL)	1~2	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
	容量	6mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
	容量	800μL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

資料

腫瘍部位とマーカーの有用性

	肺・乳腺		消化管			肝・胆・膵			性腺・泌尿器			
	肺がん	乳がん	食道がん	胃がん	大腸がん	肝がん	胆嚢・胆道がん	膵がん	卵巣がん	子宮がん	腎・膀胱がん	前立腺がん
CEA												
AFP												
PIVKA-II												
CA19-9												
CA125												
SCC												
CA15-3												
PSA												

- 特に有用性が高いもの
 有用性が認められているもの

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

ウイルス学検査

ウイルス学検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
32041	HBs抗原 (HBsAg)	定性	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5		CLIA	陰性(-)	1~2	- 陽性の場合、確認検査を行うため報告が遅れます。 - 実施料は「HBV抗体精密測定」として一連の算定になります。 - 脚注参照※1
32042		定量				cut off値 0.05未満 (IU/mL)		
32043	HBs抗体 (HBsAb)	定性	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5		CLIA	陰性(-)	1~2	基準値は、HBVワクチンの再接種基準によるものです。 脚注参照※1
32044		定量				cut off値 10.0未満 (mIU/mL)		
32047	HBc抗体 (HBcAb)	定性	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	CLIA	陰性(-)	1~2	脚注参照※1
32049		定量				cut off値 1.00未満 (S/CO)		
32049	HCV抗体 (HCVAb)	定性	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5		CLIA	陰性(-)	1~2	実施料は「HCV抗体精密測定」として一連の算定になります。 脚注参照※1
32050		定量				cut off値 1.00未満 (S/CO)		
32057	HTLV-I抗体		血液 1 遠心 ↓ 血清 0.3		PA	陰性(-)	1~8	陽性の場合、再検査を行うため、報告が遅れます。 脚注参照※1
32077	HIV抗原抗体 スクリーニング (HIV Ag/Ab)		血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5		CLIA	陰性(-)	1~2	陽性の場合、再検査を行うため、報告が遅れます。 脚注参照※1
33017	SARS-CoV-2抗原定量 鼻咽頭ぬぐい液		鼻腔 または 鼻咽頭ぬぐい液	32	ECLIA法	1.0未満 (COI)	1~2	

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

容器番号	容 器	備 考
01	茶:分離剤入り	
	容量	6mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)	
	容量	800μL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

薬物検査

薬物検査

項目コード	検査項目	採取量 (mL) 必要量 (mL)	容 器	保存方法	検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
33057	カルバマゼピン (CARB)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5	01 または 08	冷蔵	ラテックス 免疫比濁法	4.0~12.0 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
33055	ジゴキシン (DIG)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 免疫比濁法	0.8~2.0 (ng/mL)	1~2	脚注参照※1
33060	フェニトイン (PHNY)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 免疫比濁法	7.0~20.0 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
33059	フェノバルビタール (PHNO)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 免疫比濁法	15.0~25.0 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
33056	テオフィリン (THEO)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 免疫比濁法	5.0~15.0 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
33058	バルプロ酸 (VALP)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 免疫比濁法	50.0~100.0 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
33050	バンコマイシン (VCM)	血液 2 遠心 ↓ 血清 0.5			ラテックス 免疫比濁法	10.0~20.0 (μg/mL)	1~2	脚注参照※1
33054	シクロスポリン (CsA)	血液 1	41		ECLIA	— (ng/mL)	1~2	脚注参照※1

※1 受け入れ不可検体 規定外容器検体

容器番号	容 器	備 考
01	茶・分離剤入り	
	容量	6mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
08	黄・分離剤入り (ミニコレクト)	
	容量	800μL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査	

容器番号	容 器	備 考
41	シクロスポリン専用 (EDTA2Na)	
	容量	5mL
	添加剤	EDTA2Na
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	シクロスポリン	

資 料

主な薬物検査の採血時期

薬剤名	採血時期
抗てんかん剤	フェノバルビタール
	投与直前(トラフ)
	フェニトイン
	経 口:投与直前(トラフ) 静 注:投与直前(トラフ)
強心剤	カルバマゼピン
	投与直前(トラフ)
強心剤	バルプロ酸
	投与直前(トラフ)
強心剤	ジゴキシン
	経 口:投与直前(トラフ)または投与後8時間以降 注射剤:投与直前(トラフ)または静注後6時間以降
気管支拡張剤	テオフィリン
	次回投与直前 または普通錠:投与後1～2時間後 徐放性製剤:投与後3～7時間に採血
抗生剤	バンコマイシン
	投与直前(トラフ)および点滴終了後1～2時間(ピーク)
免疫抑制剤	シクロスポリン
	投与直前(トラフ)および内服後2時間(ピーク)

薬物検査の治療域(基準値)と毒性域

項 目	治療域(基準値)	毒性域
カルバマゼピン	4.0～12.0μg/mL	15.0μg/mL以上
ジゴキシン	0.8～2.0ng/mL	2.5ng/mL以上
フェニトイン	7.0～20.0μg/mL	20.0μg/mL以上
フェノバルビタール	15.0～25.0μg/mL	35.0μg/mL以上
テオフィリン	5.0～15.0μg/mL	20.0μg/mL以上
バルプロ酸	50.0～100.0μg/mL	100.0μg/mL以上
バンコマイシン	10.0～20.0μg/mL	30.0μg/mL以上
シクロスポリン	脚注参照※1	400ng/mL以上

※1 感受性の個人差、移植のタイプ、経過時間、その他様々な要因により有効治療域濃度には個人差があります。



一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

微生物学検査

一般細菌検査、抗酸菌検査

	項目コード	検査項目	検査材料・量	容 器	保存方法	使用培地・検査方法	基準値 (単位)	所要日数	備 考
一般細菌検査	45001	塗抹鏡検	喀出痰 吸引痰 気管支洗浄液	13	冷蔵	グラム染色		1～2	
			咽頭粘液・ 鼻汁・口腔内	24					
			胆汁・胃液 胸水・腹水	13					
			尿	13 または 16					
			腔分泌液	24					
			穿刺液	13					
			膿・眼分泌物 耳分泌物、 尿道分泌液、他	13 または 24					
	45002		髄液	13	35℃ (孵卵器)	グラム染色 墨汁染色			
	45013	培養同定	塗抹に同じ					3～7※1	検体を乾燥させないよう にしてください。
			便	20 または 24	冷蔵			3～7※1	
			血液 0.5～10mL	26～28	室温			5～10※1	
抗酸菌検査	45014	嫌気性培養	膿、分泌物、 穿刺液、胆汁 ／その他	25	冷蔵			4～10※1	・必ず同定・感受性と同時 にご依頼ください。 ・嫌気ポーターにて採 取してください。
	45015	薬剤感受性検査	1菌種	培養・ 同定に同じ		微量液体希釈法 ディスク拡散法 (CLSI準拠)		3～7※1	
			2菌種						
			3菌種以上						
	45011	尿定量培養	尿 1mL	13 または 16	冷蔵	ディップ スライド法		2～4※1	
	45101	塗抹鏡検	喀出痰／その他	13	冷蔵	チール・ ネルゼン法	(－)	1～2	
	45104	培養検査	喀出痰／その他			2%小川培地・ ビット培地	(－)	2～8週間	
	45026		血液1～5mL	29	室温	液体培養	(－)	0～6週間	
	45106	核酸同定検査	呼吸器材料／ その他	13	冷蔵	TRC法 (東ソー)	(－)	2～7	※受け入れ不可検体 ・ヘパリンが入った検体
	45107 ～ 45108		呼吸器材料／ その他			TRC法 (東ソー)	(－)	2～7	※受け入れ不可検体 ・ヘパリンが入った検体

※1 所要日数は、菌の発育状況により延長する場合があります。

その他

項目コード	検査項目	検査材料・量	容器	保存方法	使用培地・検査方法	基準値	所要日数	備考
32088	マイコプラズマ (LAMP法)	咽頭ぬぐい液	39	冷蔵	LAMP法	(-)	1～4	採取後速やかにご提出ください。 ※受け入れ不可検体 ・専用綿棒以外の検体 ・咽頭以外の部位から採取した検体
32086	CDトキシンA/B CD抗原	便	37	冷蔵	イムノクロマト法	(-)	1～2	
32091	ロタウイルス・アデノウイルス	便	36	冷蔵	イムノクロマト法	(-)	1～2	
32078	ノロウイルス	便	35	冷蔵	イムノクロマト法	(-)	1～2	
45018	病原大腸菌O157	便	—	—	スライド凝集法	(-)	4～8	大腸菌が検出された場合に実施
45019	病原大腸菌EHEC	便	—	—	スライド凝集法	(-)	4～8	大腸菌が検出された場合に実施
45051	ベロ毒素	菌株	—	—	イムノクロマト法	(-)	4～8	大腸菌が検出された場合に実施
32103	SARS-CoV-2 核酸検出検査	唾液 鼻咽頭ぬぐい液	13 32	冷蔵	LAMP法 TRC法	(-)	1～3	受け入れ不可検体 ・血液混入 ・食物残渣が混入 ・痰性状 検査法は指定できません。

容器番号	容器	備考
13	滅菌容器	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	生化学、免疫項目、尿一般、細菌、髄液	

容器番号	容器	備考
16	尿コップ	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	尿一般検査、細菌検査	

容器番号	容器	備考
20	直採管	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	虫卵、便培養	

容器番号	容器	備考
24	シードスワブ	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	細菌検査	

容器番号	容器	備考
25	嫌気ポーター	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 2年
主な検査項目	嫌気培養	

容器番号	容器	備考
26	好気用ボトル	
		容量 3～10mL 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ボトルに記載
主な検査項目	血液培養(好気培養)	

容器番号	容器	備考
27	嫌気用ボトル	
		容量 3～10mL 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ボトルに記載
主な検査項目	血液培養(嫌気培養)	

容器番号	容器	備考
28	小児用ボトル	
		容量 0.5～5mL 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ボトルに記載
主な検査項目	血液培養(小児血液培養)	

容器番号	容器	備考
29	抗酸菌用ボトル	
		容量 1～5mL 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ボトルに記載
主な検査項目	血液培養(抗酸菌培養)	

容器番号	容器	備考
32	RSウイルス・インフルエンザ・SARS-CoV-2 ヒトメタニューモウイルス抗原専用綿棒	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	RSウイルス抗原、ヒトメタニューモウイルス抗原	

容器番号	容器	備考
35	ノロウイルス抗原専用綿棒	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	ノロウイルス抗原	

容器番号	容器	備考
36	ロタウイルス・アデノウイルス専用綿棒	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	ロタウイルス・アデノウイルス	

容器番号	容器	備考
37	CDトキシンA/B CD抗原専用綿棒	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	CDトキシンA/B CD抗原	

容器番号	容器	備考
39	フロックスワブ	
		容量 ー 添加剤 ー 保管方法 常温 有効期間 ー
主な検査項目	マイコプラズマ (LAMP法)	

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

微生物学検査

感受性薬剤一覧〈薬剤セット一覧〉

微量液体希釈法

	薬剤略号	グラム陽性球菌	グラム陰性桿菌		<i>Streptococcus</i> spp. (<i>S. pneumoniae</i> を含む)	<i>Haemophilus</i> spp.
		Pos Combo1J	Neg Combo EN 5J	Neg Combo NF 2J	MF7J	MF6J
ペニシリン系	PIPC			●		
	PCG	●			●	
	ABPC	●	●		●	●
	MPIPC	●				
セファロスポリン系 (注射剤)	CEZ	●	●			
	CTM				●	●
	CTX				●	●
	CTRX		●		●	●
	CZOP			●	●	
	CFPM		●	●	●	●
	CAZ		●	●		
セファロスポリン系 (経口剤)	CDTR		●		●	●
	CCL					●
	CPDX		●			
セファマイシン系	CMZ	●	●			
オキサセフェム系	FMOX		●			
	LMOX		●			
カルバペネム系	IPM	●		●		
	MEPM		●	●	●	●
	DRPM			●		
ペネム系	FRPM		●			
モノバクタム系	AZT		●	●		
β-ラクタマーゼ阻害剤/合剤	AMPC/CVA				●	●
	ABPC/ST	●	●			●
	PIPC/TAZ		●	●		
	CTLZ/TAZ		●			
アミノグリコシド系	GM	●	●	●		
	GMS	●				
	TOB			●		
	ABK	●				
	AMK		●	●		
マクロライド系	EM	●			●	
	CAM					●
	AZM				●	
リンコマイシン系	CLDM	●			●	
テトラサイクリン系	MINO	●	●	●	●	●
	TGC		●	●		
ニューキノロン系	LVFX	●	●	●	●	●
	CPFX			●		●
グリコペプチド系	VCM	●			●	
	TEIC	●				
その他	DAP	●				
	ST	●	●	●	●	●
	FOM	●	●			
	CP				●	●
	LZD	●				
	MUP	●				
	CL		●	●		
	RFP	●			●	

ディスク法

	薬剤略号	<i>N. gonorrhoeae</i>	<i>B. catarrhalis</i>
セファロスポリン系 (注射剤)	CTRX	●	
セファロスポリン系 (経口剤)	CFIX	●	
β-ラクタマーゼ阻害剤/合剤	AMPC/CVA		●
マクロライド系	EM		●
ニューキノロン系	CPFX	●	

追加薬剤

	薬剤略号	判定可能菌(属)名
ペニシリン系	MPIPC	<i>Streptococcus pneumoniae</i>
セファロスポリン系 (注射剤)	CTX	Enterobacterales <i>Acinetobacter</i> spp. <i>Streptococcus</i> spp. (β -haemolytic group , Viridans group) * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Nisseria gonorrhoeae</i> <i>Neisseria meningitidis</i> <i>Aeromonas</i> spp. <i>Vibrio</i> spp.
	CTRX	Enterobacterales <i>Acinetobacter</i> spp. * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Nisseria gonorrhoeae</i> <i>Neisseria meningitidis</i> <i>Streptococcus</i> spp. (β -haemolytic group , Viridans group) <i>Pasteurella</i> spp. <i>Aeromonas</i> spp.
	CAZ	Enterobacterales <i>Pseudomonas aeruginosa</i> <i>Acinetobacter</i> spp. * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Nisseria gonorrhoeae</i> <i>Aeromonas</i> spp. <i>Vibrio</i> spp.
セファロスポリン系 (経口剤)	CFIX	Enterobacterales * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Nisseria gonorrhoeae</i>
β -ラクタマーゼ阻害剤/合剤	AMPC/CVA	Enterobacterales * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Pasteurella</i> spp. <i>Vibrio</i> spp.
アミノグリコシド系	AMK	Enterobacterales <i>Pseudomonas aeruginosa</i> <i>Acinetobacter</i> spp. <i>Aeromonas</i> spp. <i>Vibrio</i> spp.
	ABK	全て
カルバペネム系	MEPM	Enterobacterales <i>Pseudomonas aeruginosa</i> <i>Acinetobacter</i> spp. * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Neisseria meningitidis</i> <i>Aeromonas</i> spp. <i>Vibrio</i> spp. <i>Burkholderia cepacia</i>
	IPM	Enterobacterales <i>Pseudomonas aeruginosa</i> <i>Acinetobacter</i> spp. * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Aeromonas</i> spp. <i>Vibrio</i> spp.
マクロライド系	EM	<i>Staphylococcus</i> spp. <i>Enterococcus</i> spp. * * <i>Streptococcus</i> spp. <i>Pasteurella</i> spp. <i>Campylobacter jejuni/coli</i> <i>Moraxella catarrhalis</i>
ニューキノロン系	CPFX	Enterobacterales (<i>Salmonella</i> spp. S. Typhi/S. ParatyphiA-C) <i>Pseudomonas aeruginosa</i> <i>Acinetobacter</i> spp. <i>Staphylococcus</i> spp. <i>Enterococcus</i> spp. (尿からの分離菌に適用) * <i>Haemophilus</i> spp. <i>Nisseria gonorrhoeae</i> <i>Neisseria meningitidis</i> <i>Aeromonas</i> spp. <i>Vibrio</i> spp. <i>Campylobacter jejuni/coli</i>
リンコマイシン系	CLDM	<i>Staphylococcus</i> spp. * * <i>Streptococcus</i> spp.
グリコペプチド系	TEIC	<i>Enterococcus</i> spp.
	VCM	* * <i>Streptococcus</i> spp.

* *Haemophilus* spp. (= *H. influenzae*, *H. parainfluenzae*)

上記表以外で追加がある場合は外部検査機関に委託

* * *Streptococcus* spp. (= β -hemolytic group, viridans group, *S. pneumoniae*)

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

資料

Geckler分類(喀痰の顕微鏡的品质評価)

表記	細胞数(1視野あたり)		内 容	評 価
	上皮細胞	白血球(好中球)		
1	>25	<10	白血球数に対し扁平上皮細胞が多いため唾液の混入が多く、また上気道や口腔内の汚染を受けている可能性が高い	検査材料として不適
2	>25	10～25		
3	>25	>25	白血球数も多く、扁平上皮細胞も多いため、両方の可能性が示唆される	注意深い判断が必要
4	10～25	>25	白血球数が多く、扁平上皮細胞が少ない	良質な喀痰で検査に適する
5	<10	>25		
6	<25	<25	白血球数が少なく、扁平上皮細胞も少ない	経気道吸引痰では適

鏡検・判定:100倍

Miller&Jones分類(喀痰の肉眼的品質評価)

表 記	分 類	性 状
唾液・粘性	M1	唾液、完全な粘性痰
膿性 少	M2	粘性痰の中に膿性痰が少量含まれる
膿 1/3	P1	膿性痰で膿性部分が1/3以下
膿 1/2	P2	膿性痰で膿性部分が1/3～2/3
膿 2/3	P3	膿性痰で膿性部分が2/3以上

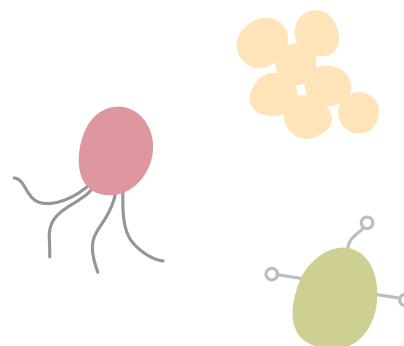
塗抹検査の報告表記

表 記	細菌数	細胞
(-)	認めず	認めず
(1+)	<1/1視野	<1～数個/全視野
(2+)	1～5/1視野	1/数視野
(3+)	6～30/1視野	1/1視野
(4+)	>30/1視野	>2/1視野

鏡検・判定:油浸(1000倍)

培養同定検査の報告表記

表 記	培地発育状態
(-)	未発育
少数	1/3未満
(1+)	1/3以上2/3未満
(2+)	2/3以上
(3+)	培地全面



一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

その他

緊急報告対象項目とその基準

下記の表に示す検査項目で異常値が検出された場合は、測定後すみやかに個別電話またはFAXでご報告申し上げます。

パニック値は、即治療を必要とする危険な病態を示唆する、あるいは早急な医師への伝達が必要とされる異常値で、主にトヨタ記念病院病棟患者様を対象とした報告基準となっております。企業の報告基準は各企業ごとの契約の通りです。直近の前回値から変動がない場合は対象外とします。

	検査項目名	緊急報告検査値		基準値	
		パニック値	異常値		
一般検査	尿沈渣	異型細胞疑い(+) 不明結晶(+) 尿細管上皮細胞 ≥10～19 不明細胞成分(+) 異常結晶、 酸性尿酸アンモニウム結晶、 薬物結晶	尿細管上皮細胞≥10～19 異型細胞疑い(+) 不明結晶(+) 不明細胞・成分(+) 異常結晶、 酸性尿酸アンモニウム結晶、 薬物結晶	尿細管上皮細胞<4 (／HPF) 異型細胞(－) 不明結晶(－) 不明細胞・成分(－)	
	塗抹法(虫卵)、アメーバ原虫	(+)	(+)	(－)	
	集卵法(虫卵)	(+)	(+)	(－)	
	蟻虫卵	(+)	(+)	(－)	
	髄液検査	細胞数 ≥33 多核球優位	－	≤5 (／μL)	
		異型細胞疑い(+) 不明成分(+)	－	異型細胞(－) 不明成分(－)	
	精液検査	精子濃度0 白血球>10	－	精子濃度 ≥16.0 (×10 ⁶ /mL)	
	アンモニア(NH ₃)	≥200	－	12～66 (μg/dL)	
	尿中レジオネラ抗原	(+)	－	(－)	
尿中薬物定性	(+)	(+)	(－)		
血液学検査	末梢血一般検査	白血球数(WBC)	<2.0、>30.0	<2.0、>25.0	3.3～8.6 (×10 ³ /μL)
		赤血球数(RBC)	－	<200、>600	M:435～555 F:386～492 (×10 ⁴ /μL)
		ヘモグロビン(HGB)	<6.0、3.0以上の低下	<7.0、>20.0	M:13.7～16.8 F:11.6～14.8 (g/dL)
		ヘマトクリット(Hct)	－	<20.0、>60.0	M:40.7～50.1 F:35.1～44.4 (%)
		血小板数(PLT)	<3.0、>100.0	<5.0、>100.0	15.8～34.8 (×10 ⁴ /μL)
	末梢血液像検査	Neut(絶対値): <500 (／μL)	・異常な白血球および 幼弱細胞、赤血球内に封入体を 認めた場合 (マラリアなど緊急報告を要するもの) ・汎血球減少があり、 偽ペルゲル様好中球を 確認した場合 ・その他明らかな異常細胞を 認める場合	NE(好中球):28.0～77.0 LY(リンパ球):17.0～57.0 MO(単球):0.0～10.0 EO(好酸球):0.0～10.0 BA(好塩基球):0.0～2.0 Atypical Lymphocyte (異型リンパ球):0.0 Blast(芽球):0.0 Promyelocyte(前骨髄球):0.0 Myelocyte(骨髄球):0.0 Metamyelocyte(後骨髄球):0.0 (%)	
	プロトロンビン時間(PT)	INR:>4.00	活性:≤30.0 秒:≥18.0 INR:≥2.00 *但し、ヘパリン治療などコントロール時は除外	活性:80.0～120.0 (%) 秒:10.5～13.0 (秒) INR:0.85～1.15	
	活性化部分トロンボ プラスチン時間(APTT)	－	≥55.0	24.6～33.5 (秒)	
	フィブリノーゲン(FIB)	<100	≤100、≥700	200～400 (mg/dL)	
	Dダイマー	－	≥30.0	≤1.0 (μg/mL)	
	FDP	－	≥60.0	<5.0 (μg/mL)	

	検査項目名	緊急報告検査値		基準値
		パニック値	異常値	
生化学検査	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	>1000	≥500	13~30 (U/L) *溶血検体は除く
	アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	—	≥500	M:10~42 F:7~23 (U/L)
	乳酸脱水素酵素 (LD (LDH))	>1,000	>1,000	124~222 (U/L) *溶血検体は除く
	アミラーゼ (AMY)	>1,000	>1,000	44~132 (U/L)
	尿中アミラーゼ (尿中AMY)	—	≥2,000	M:16~491 (U/L) F:21~447 (U/L)
	尿素窒素 (UN)	—	≥100	8~20 (mg/dL)
	クレアチニン (CRE)	>3.00	>3.00	M:0.65~1.07 F:0.46~0.79 (mg/dL) *透析患者は除く
	血糖精査 (GLU)	<50、≥500	<50、≥350	73~109 (mg/dL) (血漿)
	糖スクリーニング (S-GLU)	<50、≥500	<50、≥350	73~109 (mg/dL)
	総ビリルビン (T-Bil)	—	≥5.0	0.4~1.5 (mg/dL)
	カルシウム (Ca)	<8.0、>12.0	<8.0、≥11.5	8.8~10.1 (mg/dL) ※1
	無機リン (IP)	—	≥6.0	2.7~4.6 (mg/dL)
	ナトリウム (Na)	<120、>160	<120、>160	138~145 (mmol/L)
	カリウム (K)	<2.5、>6.5	<2.5、>6.5	3.6~4.8 (mmol/L) *溶血検体は除く
	クロール (Cl)	—	<90、>120	101~108 (mmol/L)
免疫血清学検査	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)	—	≥1,000	18.4 以下 (pg/mL)
	高感度トロポニンI	—	≥50,000	26未満 (pg/mL)
薬物検査	ジゴキシシン (DIG)	≥2.5	—	0.8~2.0 (ng/mL)
	テオフィリン (THEO)	≥20	—	5.0~15.0 (μg/mL)
	フェノバルビタール (PHNO)	≥35	—	15.0~25.0 (μg/mL)
	フェニトイン (PHNY)	≥20	—	7.0~20.0 (μg/mL)
	カルバマゼピン (CARB)	≥15	—	4.0~12.0 (μg/mL)
	バルプロ酸 (VALP)	≥100	—	50.0~100.0 (μg/mL)
	バンコマイシン (VCM)	≥30.0	—	10.0~20.0 (μg/mL) *トラフ時
	シクロスポリン (CsA)	≥400	—	— (ng/mL)
微生物学検査	塗抹鏡検 (髄液)	菌の検出	—	—
	培養同定 (血液・髄液)	菌の検出	—	—
	塗抹鏡検 (抗酸菌)	抗酸菌の検出	—	—
	核酸同定検査	結核菌の検出	—	—
	一般培養	二類、三類、四類、五類 感染症原因菌の検出※2	—	—

※1 補正Caで判断する。補正Ca濃度 (mg/dL) = 血清Ca濃度 (mg/dL) - 血清Alb濃度 (g/dL) + 4 ※2 五類は全数報告対象分に限る。

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

検査項目	基準値設定根拠
一般検査	
尿定性	尿検査 その知識と病態の考え方
尿沈渣	尿沈渣検査法2010、尿検査 その知識と病態の考え方
尿中蛋白(尿中TP)	臨床検査法提要改訂第35版
尿中糖(尿中GLU)	同上
尿中ナトリウム(尿中Na)	同上
尿中カリウム(尿中K)	同上
尿中クロール(尿中Cl)	同上
尿中カルシウム(尿中Ca)	同上
尿中無機リン(尿中IP)	同上
尿中 β 2-MG	試薬添付文書
尿中NAG	同上
尿中アミラーゼ(尿中AMY)	同上
尿中クレアチニン(尿中CRE)	臨床検査法提要改訂第35版
尿中尿素窒素(尿中UN)	試薬添付文書
尿中アルブミン(尿中ALB)	CKD診療ガイドライン2012
塗抹法(虫卵)、アメーバ原虫	臨床検査法提要改訂第35版
集卵法(虫卵)	同上
蟻虫卵	同上
便潜血(1日目、2日目)	同上(カットオフ値はトヨタ記念病院の要望から設定)
尿中HCG定性	臨床検査データブック 2021-2022
尿中エストジオール半定量(E3スライド)	試薬添付文書
血液ガス	血液ガス分析装置RapidPoint500測定項目一覧、臨床検査データブック 2021-2022
赤血球沈降速度(60分)	臨床検査法提要改訂第35版
尿素呼吸試験(C-UBIT)	ユービット尿素(^{13}C)製剤 製品情報概要
アデノウイルス抗原(咽頭)	試薬添付文書
A群 β 溶連菌抗原	同上
インフルエンザ抗原	同上
RSウイルス抗原	同上
ヒトメタニューモウイルス抗原(hMPV)	同上
尿中肺炎球菌抗原	臨床検査データブック 2021-2022
尿中レジオネラ抗原	同上
鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原	試薬添付文書
アンモニア(NH_3)	同上
髄液検査	臨床検査法提要改訂第35版
胸水・腹水検査	臨床検査法提要改訂第35版
2時間クレアチニンクリアランス(2hCCR)	同上
24時間クレアチニンクリアランス(24hCCR)	同上
精液検査	「ヒト精液検査と手技」WHO・ラボマニュアル6版

血液学検査

白血球数(WBC)	JCCLS共用基準範囲
赤血球数(RBC)	同上
ヘモグロビン(HGB)	同上
ヘマトクリット(Hct)	同上
血小板数(PLT)	同上
平均赤血球容積(MCV)	同上
平均赤血球血色素量(MCH)	同上
平均赤血球血色素濃度(MCHC)	同上
網赤血球数(RET)	トヨタ記念病院基準値

検査項目	基準値設定根拠
血液学検査	
末梢血液像検査	トヨタ記念病院基準値
プロトロンビン時間(PT)	同上
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	同上
フィブリノーゲン(FIB)	同上
Dダイマー	同上
FDP	同上
赤血球浸透圧脆弱性試験	臨床血液学、第4版
生化学検査	
総蛋白(TP)	JCCLS共用基準範囲
アルブミン(ALB)	同上
総ビリルビン(T-Bil)	同上
直接ビリルビン(D-Bil)	トヨタ記念病院基準値
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)	JCCLS共用基準範囲
アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)	同上
乳酸脱水素酵素(LD(LDH))	同上
アルカリホスファターゼ(ALP)	同上
ガンマ-グルタミルトランスぺプチダーゼ(γ -GT)	同上
コリンエステラーゼ(ChE)	同上
クレアチンキナーゼ(CK)	同上
アミラーゼ(AMY)	同上
膵臓由来アミラーゼ(P-AMY)	トヨタ記念病院基準値
リパーゼ(LIP)	臨床検査法提要改訂第35版
ペプシノゲン(PG)	メーカー推奨基準値
クレアチニン(CRE)	JCCLS共用基準範囲
尿酸(UA)	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版(2019年)、JCCLS共用基準範囲
尿素窒素(UN)	JCCLS共用基準範囲
血糖精査(GLU)	JCCLS共用基準範囲、糖尿病診療ガイドライン2019
HbA1c	<NGSP値> JCCLS共用基準範囲 <JDS値> 臨床検査データブック 2021-2022
グリコアルブミン(GA)	新しい酵素法によるグリコアルブミン測定試薬の評価
グルコース負荷試験	糖尿病診療ガイドライン2019
妊婦糖負荷試験(50g 60min)	同上
糖スクリーニング(S-GLU)	JCCLS共用基準範囲、糖尿病診療ガイドライン2019
KL-6	メーカー推奨基準値
中性脂肪(TG)	JCCLS共用基準範囲、動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版
総コレステロール(T-Cho)	JCCLS共用基準範囲、動脈硬化性疾患予防ガイドライン2007年版
HDLコレステロール(HDL-C)	JCCLS共用基準範囲、動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017年版
LDLコレステロール(LDL-C)	動脈硬化性疾患予防ガイドライン2017、JCCLS共用基準範囲
ナトリウム(Na)	JCCLS共用基準範囲
カリウム(K)	同上
クロール(Cl)	同上
カルシウム(Ca)	同上
無機リン(IP)	同上
血清鉄(Fe)	同上
不飽和鉄結合能(UIBC)	トヨタ記念病院基準値
マグネシウム(Mg)	同上
ビタミンB12(VB12)	メーカー推奨基準値

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

検査項目	基準値設定根拠
生化学検査	
葉酸 (FolateBA)	メーカー推奨基準値
亜鉛 (Zn)	亜鉛欠乏症の診療指針2018
インドシアニンググリーン試験 (ICG)	臨床検査法提要改訂第35版
浸透圧 (尿、血清)	同上
免疫血清学的検査	
抗streptolysin O抗体 (ASO)	トヨタ記念病院基準値
抗streptokinase抗体 (ASK)	臨床検査データブック 2019-2020
RPR定性・定量	メーカー推奨基準値
梅毒抗体 (TPAb) 定性・定量	同上
マイコプラズマ抗体 (MYCO)	臨床検査データブック 2019-2020
寒冷凝集反応 (CHA)	同上
β 2ミクログロブリン (β 2MG)	トヨタ記念病院基準値
プロカルシトニン (PCT)	メーカー推奨基準値
H.ピロリ抗体 (HPAb)	メーカー推奨基準値
IgG (免疫グロブリンG)	JCCLS共用基準範囲
IgA (免疫グロブリンA)	同上
IgM (免疫グロブリンM)	同上
C3	同上
C4	同上
補体価 (CH50)	トヨタ記念病院基準値
リウマチ因子 (RF)	日本リウマチ学会 (リウマトイド因子標準化の) ガイドライン
フェリチン (FER)	メーカー推奨基準値
CRP	JCCLS共用基準範囲
高感度トロポニンI	メーカー推奨基準値
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)	同上
脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)	同上
ハプトグロビン (Hp)	トヨタ記念病院基準値
非特異的IgE (総IgE, tIgE)	メーカー推奨基準値
特異的IgE (sIgE)	同上
β -D-グルカン	同上
内分泌学検査	
甲状腺刺激ホルモン (TSH)	メーカー推奨基準値
遊離トリヨードサイロニン (FT ₃)	同上
遊離サイロキシン (FT ₄)	同上
黄体形成ホルモン (LH)	同上
卵胞刺激ホルモン (FSH)	同上
プロラクチン (PRL)	同上
プロゲステロン (PRGE)	同上
ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	同上
テストステロン (TESTO)	同上
エストラジオール (E2)	同上
腫瘍関連検査	
α -フェトプロテイン (AFP)	メーカー推奨基準値
癌胎児性抗原 (CEA)	同上
CA19-9	同上
前立腺特異抗原 (PSA)	同上

検査項目	基準値設定根拠
腫瘍関連検査	
CA125	メーカー推奨基準値
CA15-3	同上
SCC	同上
IL-2R	同上
PIVKA-II	同上
ウイルス感染症検査	
HBs抗原(HBsAg)	メーカー推奨基準値
HBs抗体(HBsAb)	同上
HBc抗体(HBcAb)	同上
HCV抗体(HCVAb)	同上
HTLV-I抗体	臨床検査データブック 2019-2020
HIV抗原抗体スクリーニング(HIV Ag/Ab)	メーカー推奨基準値
SARS-CoV-2抗原定量	同上
薬物検査	
カルバマゼピン(CARB)	てんかん診療ガイドライン2018
ジゴキシン(DIG)	トヨタ記念病院基準値
フェニトイン(PHNY)	てんかん診療ガイドライン2018
フェノバルビタール(PHNO)	トヨタ記念病院基準値
テオフィリン(THEO)	臨床検査データブック2021-2022
バルプロ酸(VALP)	てんかん診療ガイドライン2018
バンコマイシン(VCM)	臨床検査法提要改訂第35版
シクロスポリン(CsA)	臨床検査法提要改訂第34版
微生物学検査	
一般細菌	
— 塗抹鏡検	愛知県臨床検査標準化協議会: 愛知県臨床検査値統一化ガイドライン「日常微生物検査における標準化手引書」 抗菌薬感受性試験のための標準検査法-第26版
— 培養同定	
— 嫌気性培養	
— 尿中細菌定量	
— 薬剤感受性	
抗酸菌	
— 塗抹検査	日本結核・非結核性抗酸菌症学会(編):抗酸菌検査ガイド2020
— 分離培養	
結核菌群核酸同定	メーカー推奨基準値
MAC核酸同定	
CDトキシンA/B+CD抗原	試薬添付文書
ロタウイルス/アデノウイルス	同上
ノロウイルス	同上
マイコプラズマ(LAMP法)	メーカー推奨基準値
SARS-CoV-2 遺伝子検査	同上

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

その他

参考文献一覧

検査項目	参考文献
一般検査	
尿定性	尿検査 その知識と病態の考え方、第2版、河合忠ほか、株式会社メディカル・ジャーナル社、2016 US特別編集号、宿谷賢一ほか、栄研化学株式会社、2015 検査と技術 一般検査ベーシックマスター、脇田満、医学書院、2017
尿沈渣	尿沈渣検査法2010、社団法人日本臨床衛生検査技師会、2011 尿検査 その知識と病態の考え方、第2版、河合忠ほか、株式会社メディカル・ジャーナル社、2016
尿中蛋白(尿中TP)	臨床検査データブック、2021-2022、尿検査、木村健二郎、720-722、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿・糞便検査、和田隆志、124-131、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中グルコース(尿中GLU)	臨床検査データブック、2021-2022、尿検査、木村健二郎、724、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿・糞便検査、伊藤機一、131-134、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中ナトリウム(尿中Na)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、安田隆、189-195 193-196、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿・糞便検査、油野友二、156、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中カリウム(尿中K)	同上
尿中クロール(尿中Cl)	同上
尿中カルシウム(尿中Ca)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、安田隆、191-192、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿・糞便検査、油野友二、155-157、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中無機リン(尿中IP)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、座間味亮、200-201、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿・糞便検査、油野友二、587-589、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中 β 2-MG	臨床検査データブック、2021-2022、尿検査、木村健二郎、734、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、血漿蛋白と膠質反応、奥村伸生、1589、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中NAG	臨床検査データブック、2021-2022、尿検査、木村健二郎、734-735、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿検査、伊藤機一、1589-1590、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中アミラーゼ(尿中AMY)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木村健二郎、142-144、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿・糞便検査、油野友二、157、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中クレアチニン(尿中CRE)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木村健二郎、118-121、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿検査、和田隆志、156、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中尿素窒素(尿中UN)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木村健二郎、128-129、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、非蛋白窒素化合物、奥村伸生、497、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中アルブミン(尿中ALB)	臨床検査データブック、2021-2022、尿検査、木村健二郎、737-738、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿・糞便検査、油野友二、129-130、金原出版、2020、金井正光(監) CKD診療の概念の基本(「CKD診療ガイドライン2012」より)、13-15、東京医学社出版、2012、日本腎臓学会(編)
塗抹法(虫卵)、アメーバ原虫	臨床検査シリーズ ヒトと動物の寄生虫鑑別アトラス、第2版、佐伯栄治ほか、株式会社メディカルサイエンス社、2013 臨床検査法提要、改訂第35版、寄生虫・原虫検査各論、丸山治彦、1269-1295、金原出版、2020、金井正光(監)
集卵法(虫卵)	臨床検査シリーズ ヒトと動物の寄生虫鑑別アトラス、第2版、佐伯栄治ほか、株式会社メディカルサイエンス社、2013 臨床検査法提要、改訂第35版、寄生虫・原虫検査各論、丸山治彦、1269-1295、金原出版、2020、金井正光(監)
蟯虫卵	臨床検査法提要、改訂第35版、寄生虫・原虫検査、丸山治彦、1270-1279-1287、金原出版、2020、金井正光(監) 臨床検査シリーズ ヒトと動物の寄生虫鑑別アトラス、第2版、佐伯栄治ほか、24-25、メディカルサイエンス社、2013
便潜血(1日目、2日目)	臨床検査データブック、2021-2022、便潜血(便中ヘモグロビン)、宿谷賢一・下澤達雄、744-745、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、便潜血検査、宿谷賢一、183-185、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中HCG定性	臨床検査データブック、2021-2022、妊娠反応<HCG定性>、飯高誠、片山茂裕、302-303、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、尿妊娠検査(ヒト絨毛ゴナドトロピン:HCG)、田中雅美、177-179、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中エストリオール半定量(E3スライド)	臨床検査データブック、2021-2022、エストリオール(E3)、飯高誠・片山茂裕、297-298、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、エストロゲン、プロゲステロン、市原淳弘、814、金原出版、2020、金井正光(監)
尿中薬物定性 (MET、OPI、COC、THC、PCP、BZO、 BAR、MTD、TCA、AMP)	Status DS 10取扱説明書
血液ガス	臨床検査データブック、2021-2022、血液ガス、小泉賢洋ほか、212-221、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、第35版、酸・塩基平衡検査、高井大哉、743-751、金原出版、2020、金井正光(監)
赤血球沈降速度(60分)	臨床検査法提要、改訂第35版、赤血球沈降速度(赤沈または血沈、ESR)、矢富裕、360-368、金原出版、2020、金井正光(監) 臨床検査データブック、2021-2022、赤血球沈降速度、石井彰、637-639、医学書院、2021、高久史磨(監)
尿素呼気試験(C-UBIT)	臨床検査データブック、2021-2022、尿素呼気試験、平田喜裕、543、医学書院、2021、高久史磨(監)
アデノウイルス抗原(咽頭)	臨床検査データブック、2021-2022、咽頭粘膜上皮細胞中アデノウイルス抗原、中村良子、546、609、医学書院、2021、高久文磨(監)
A群 β 溶連菌抗原	臨床検査データブック、2021-2022、A群 β 溶連菌迅速試験定性、井田陽子、546、545-547、医学書院、2021、高久史磨(監)
インフルエンザ抗原	臨床検査法提要、改訂第35版、インフルエンザウイルス、渡邊真治、竹田誠、1244-1246、金原出版、2020、金井正光(監) 臨床検査データブック、2021-2022、A型インフルエンザウイルス抗原、B型インフルエンザウイルス抗原、中村良子、546、610-611、医学書院、2021、高久史磨(監)
RSウイルス抗原	臨床検査データブック、2021-2022、RSウイルス抗原[RSV抗原]、佐藤智明、546、558-559、医学書院、2021、高久史磨(監)
ヒトメタニューモウイルス抗原(hMPV)	臨床検査データブック、2021-2022、ヒトメタニューモウイルス抗原、佐藤智明、546、559-560、医学書院、2021、高久史磨(監)
SARS-CoV-2抗原(コロナ抗原)	病原体等安全管理規定、国立感染症研究所、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針

検査項目	参考文献
一般検査	
尿中肺炎球菌抗原	臨床検査データブック2021-2022、肺炎球菌莢膜抗原定性、井田陽子、548-549、医学書院、2021、高久史磨（監）
尿中レジオネラ抗原	臨床検査データブック2021-2022、尿中レジオネラ抗原定性、井田陽子、549-550、医学書院、2021、高久史磨（監）
鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原	臨床検査データブック、2021-2022、肺炎球菌細胞壁抗原、岡崎充宏、森屋恭爾、549、医学書院、2021、高久史磨（監）
アンモニア（NH ₃ ）	臨床検査データブック、2021-2022、アンモニア〔NH ₃ 〕、橋本佳明、109、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、アンモニア、奥村伸生、508-510、金原出版、2020、金井正光（監）
髄液検査・羊水検査	臨床検査データブック、2021-2022、髄液、宿谷賢一・下澤達雄、759-762、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、脳脊髄液（髄液）検査、森田洋、203-217、金原出版、2020、金井正光（監）
胸水・腹水検査	臨床検査データブック、2021-2022、血液・尿以外の検査、須藤英一・宿谷賢一ほか、758~759・768~769、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、穿刺液検査、下澤達雄、189-203、金原出版、2020、金井正光（監）
2時間クレアチニンクリアランス（2hCCR）	臨床検査法提要、改訂第35版、腎機能検査、波多野道廉、1579-1582、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、クレアチニンクリアランス、藤乗嗣泰・木村健二郎、121-122、医学書院、2021、高久史磨（監）
24時間クレアチニンクリアランス（24hCCR）	同上
精液検査	臨床検査データブック、2021-2022、精液、764-765、松下一仁・堀江重郎、医学書院、2021、高久史磨（監）
シカHIK胃型ムチン（胃型ムチン）	シカHIK胃型ムチン添付文書

血液学検査	
末梢血 般検査	白血球数（WBC）
	赤血球数（RBC）
	ヘモグロビン（HGB）
	ヘマトクリット（Hct）
	血小小板数（PLT）
	平均赤血球容積（MCV）
	平均赤血球血色素量（MCH）
	平均赤血球血色素濃度（MCHC）
網状赤血球数（RET）	同上
末梢血液像検査	同上
プロトンピン時間（PT）	臨床検査法提要、改訂第35版、血栓・止血検査、矢富裕、414-418、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、凝固・線溶系検査、北島勲、373-375、医学書院、2021、高久史磨（監）
活性化部分トロンボプラスチン時間（APTT）	臨床検査法提要、改訂第35版、血栓・止血検査、矢富裕、412-414、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、凝固・線溶系検査、北島勲、377-379、医学書院、2021、高久史磨（監）
フィブリノーゲン（FIB）	臨床検査法提要、改訂第35版、血栓・止血検査、矢富裕、422-424、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、凝固・線溶系検査、北島勲、379-381、医学書院、2021、高久史磨（監）
Dダイマー	臨床検査法提要、改訂第35版、血栓・止血検査、矢富裕、458-462、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、血液・凝固・線溶系検査、北島勲、384-386、医学書院、2021、高久史磨（監）
FDP	臨床検査法提要、改訂第35版、血栓・止血検査、矢富裕、458-462、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、血液・凝固・線溶系検査、北島勲、382-384、医学書院、2021、高久史磨（監）
クロスミキシング試験	臨床検査法提要、改訂第35版、血栓・止血関連検査、小嶋哲人・高木明、414、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、凝固・線溶系検査、北島勲、398-399、医学書院、2021、高久史磨（監）
赤血球浸透圧脆弱性試験	臨床検査法提要、改訂第35版、血球検査、西川真子、356-358、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床血液学、第4版、血球に関するその他の検査、日野志郎、166-168、医歯薬出版、1995
気管支肺胞洗浄液（BAL）検査	臨床検査法提要、改訂第35版、気管支肺胞洗浄（BAL）、本田孝行、1771-1772、金原出版、2020、金井正光（監） 臨床検査データブック、2021-2022、気管支肺胞洗浄液（BALF）、須藤英一、766-767、医学書院、2021、高久史磨（監）

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

その他

参考文献一覧

検査項目	参考文献
生化学検査	
総蛋白(TP)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本佳明、99、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、大川龍之介、478-479、金原出版、2020、金井正光(監)
アルブミン(ALB)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本佳明、99-100、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、大川龍之介、479-480、金原出版、2020、金井正光(監)
総ビリルビン(T-Bil)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木下誠、174、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、日高宏哉、564-569、金原出版、2020、金井正光(監)
直接ビリルビン(D-Bil)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木下誠、174-175、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、日高宏哉、564-569、金原出版、2020、金井正光(監)
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ(AST)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、134-136、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、621-625、金原出版、2020、金井正光(監)
アラニンアミトランスフェラーゼ(ALT)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、133-134、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、621-625、金原出版、2020、金井正光(監)
乳酸脱水素酵素(LD(LDH))	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、片倉芳樹、四郷宏、139-140、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、藤田清貴、626-631、金原出版、2020、金井正光(監)
アルカリホスファターゼ(ALP)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、144-145、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、603-606、金原出版、2020、金井正光(監)
ガンマグルタミルトランスペプチダーゼ(γ -GT)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、137-138、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、632-634、金原出版、2020、金井正光(監)
コリンエステラーゼ(ChE)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、155-157、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、613-615、金原出版、2020、金井正光(監)
クレアチンキナーゼ(CK)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、153、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、藤田清貴・高橋克典、615-617、金原出版、2020、金井正光(監)
アミラーゼ(AMY)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、140-141、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、607、金原出版、2020、金井正光(監)
膵臓由来アミラーゼ(P-AMY)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、141-142、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、610-612、金原出版、2020、金井正光(監)
リパーゼ(LIP)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、片倉芳樹、四柳宏、173、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、631-632、金原出版、2020、金井正光(監)
ペプシノゲン(PG)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、片倉芳樹、四柳宏、165-166、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、消化管検査、赤松泰次、1481、金原出版、2020、金井正光(監)
クレアチニン(CRE)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本佳明、117-118、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、500-503、金原出版、2020、金井正光(監)
尿酸(UA)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本佳明、113-114、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、503-507、金原出版、2020、金井正光(監)
尿素窒素(UN)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本佳明、128-129、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸生、497-500、金原出版、2020、金井正光(監)
血糖精査(GLU)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学的検査、大原毅、309-310、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、第35版、臨床化学検査、日高宏哉、515-520、金原出版、2020、金井正光(監)
HbA1c	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌化学検査、大原毅、311-312、医学書院、2021、高久史磨(監) 日常臨床及び特定健診・保健指導におけるHbA1c国際標準化の基本方針及びHbA1c表記の運用指針、日本糖尿病学会、2012 糖尿病、2002、46巻9号、糖尿病関連検査の標準化に関する委員会、富永真琴、775-778
グリコアルブミン(GA)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学的検査、宮田哲、312-313、医学書院、2021、高久史磨(監)
グルコース負荷試験	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学的検査、大原毅、309-310、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、第35版、臨床化学検査、日高宏哉、515-520、金原出版、2020、金井正光(監)
妊婦糖負荷試験(50g 60min)	同上
糖スクリーニング(S-GLU)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌化学検査、大原毅、309-310、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、日高宏哉、514-520、金原出版、2020、金井正光(監)
KL-6	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、前川真人、680-681、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、肺線維化マーカー検査、藤本圭作、1816-1817、金原出版、2020、金井正光(監)
中性脂肪(TG)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木下誠、181、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、戸塚実、543-545、金原出版、2020、金井正光(監)
総コレステロール(T-Cho)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木下誠、177-179、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、戸塚実、541-543、金井正光監修、金原出版、2020、金井正光(監)
HDLコレステロール(HDL-C)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木下誠、179、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、戸塚実、550-554、金原出版、2020、金井正光(監)
LDLコレステロール(LDL-C)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木下誠、180-181、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、戸塚実、554-555、金原出版、2020、金井正光(監)
ナトリウム(Na)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、安田隆、189-195、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、電解質・浸透圧測定、戸塚実、569-575、金原出版、2020、金井正光(監)

検査項目	参考文献
生化学検査	
カリウム(K)	同上
クロール(Cl)	同上
カルシウム(Ca)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、安田隆、191-192、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、577-583、金原出版、2020、金井正光(監)
無機リン(IP)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、安田隆、200-201、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、587-589、金原出版、2020、金井正光(監)
血清鉄(Fe)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本佳明、132、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、589-593、金原出版、2020、金井正光(監)
不飽和鉄結合能(UIBC)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本佳明、131-132、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、589-593、金原出版、2020、金井正光(監)
マグネシウム(Mg)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、安田隆、196-198、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、生体内金属元素、山内一由、583-587、金原出版、2020、金井正光(監)
亜鉛(Zn)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、安田隆、201-203、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、山内一由、594-595、金原出版、2020、金井正光(監)
ビタミンB12(VB12)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、鹿住敏、229-230、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、渭原博、臨床化学検査、675、金原出版、2020、金井正光(監)
葉酸(FolateBA)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、鹿住敏、228-229、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、渭原博、臨床化学検査、674-675、金原出版、2020、金井正光(監)
インドシアニングリーン試験(ICG)	臨床検査法提要、第35版、インドシアニングリーン(ICG)試験、梅村武司、1522-1523、金原出版、2020、奥村伸生ほか(編) 臨床検査データブック、2021-2022版、ICG試験(インドシアニンググリーン試験)、加藤哲夫、236-237、医学書院、2021、高久史磨(監)
浸透圧(尿、血清)	臨床検査法提要、改訂第35版、2章 尿・糞便検査 8尿浸透圧、宿屋賢一、121、金原出版、2020、金井正光(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、7章 体液・電解質・酸塩基平衡検査、杉本俊郎、725-758、金原出版、2020、金井正光(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、8章 内分泌代謝機能検査、下澤達雄ほか、759-831、金原出版、2020、金井正光(監) 臨床検査項目辞典、第1版、浸透圧・浸透圧(尿)、大井洋之、274-275、医歯薬出版、2008、伊藤機一ほか(編) 臨床検査データブック2021-2022、血漿浸透圧(Posm)、尿浸透圧(Uosm)、安田隆、209-212、医学書院、2021、高久史磨(監)

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

その他

参考文献一覧

検査項目	参考文献
免疫血清学的検査	
抗streptリジンO抗体 (ASO)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、山本健二、山屋駿一、538、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、感染症（非ウイルス性）の免疫血清検査、川崎健治、958-961、金原出版、2020、金井正光（監）
抗streptキナーゼ抗体 (ASK)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、山本健二、山屋駿一、537-538、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、溶連菌感染症の血清検査、川崎健治、958-960、金原出版、2020、金井正光（監）
RPR定性・定量	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、山屋駿一、山本健二、564-565、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、感染症（非ウイルス性）の免疫血清検査、亀子光明、961-967、金原出版、2020、金井正光（監）
梅毒抗体 (TPAb) 定性・定量	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、山屋駿一、山本健二、564-565、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、感染症（非ウイルス性）の免疫血清検査、亀子光明、961-967、金原出版、2020、金井正光（監）
マイコプラズマ抗体 (MYCO)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、矢野晴美、567-568、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、肺炎マイコプラズマの血清検査、奥村伸生、968-969、金原出版、2020、金井正光（監）
寒冷凝集反応 (CHA)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、矢野晴美、567、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、肺炎マイコプラズマの血清検査、奥村伸生、968-969、金原出版、2020、金井正光（監）
β 2マイクログロブリン (β 2MG)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、木村健二郎、168-169、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、齋藤邦明、489-490、金原出版、2020、金井正光（監）
プロカルシトニン (PCT)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、久志本成樹、645-646、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、齋藤邦明、臨床化学検査、495-496、金原出版、2020、金井正光（監）
H.ピロリ抗体 (HPAb)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、平田喜裕、542-543、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、消化管検査、赤松泰次、1476-1477、金原出版、2020、金井正光（監）
IgG (免疫グロブリンG)	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、廣村桂樹、425-426、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、免疫血清検査、奥村信夫、834-837、金原出版、2020、金井正光（監）
IgA (免疫グロブリンA)	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、廣村桂樹、426-427、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、免疫血清検査、奥村信夫、834-837、金原出版、2020、金井正光（監）
IgM (免疫グロブリンM)	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、廣村桂樹、429、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、免疫血清検査、奥村信夫、834-838、金原出版、2020、金井正光（監）
C3	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、水野正司、422-423、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸夫、853、金原出版、2020、金井正光（監）
C4	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、水野正司、423、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸夫、853、金原出版、2020、金井正光（監）
補体価 (CH50)	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、水野正司、421-422、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、奥村伸夫、849-852、金原出版、2020、金井正光（監）
リウマチ因子 (RF)	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、横田和浩、三村俊英、436、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、自己抗体に関する検査法、三森経世、930-931、金原出版、2020、金井正光（監） 日本リウマチ学会 リウマトイド因子標準化のガイドライン、2011、日本臨床検査標準化協議会・RF標準化検討委員会
フェリチン (FER)	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、安井寛、今井浩三、650-651、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、山田一由、臨床化学検査、589-593、金原出版、2020、金井正光（監）
CRP	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、石井彰、639-640、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床化学検査、齋藤邦明、492-494、金原出版、2020、金井正光（監）
高感度トロポニンI	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、橋本直明、171、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、心筋構造蛋白マーカー、池田宇一、660、金原出版、2020、金井正光（監）
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学的検査、土居健太郎、伊藤裕、中尾一和、336-337、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、心不全マーカー検査、本郷実、658-659、金原出版、2021、金井正光（監）
脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学的検査、伊苅裕二、337-338、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、心不全マーカー検査、植田洋平、立松美香、田辺昌代、成瀬光栄、659-660、金原出版、2021、金井正光（監）
ハプトグロビン (Hp)	臨床検査データブック、2021-2022、生化学検査、片倉芳樹、四柳宏、158-159、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血漿蛋白と膠質反応、奥村伸生、486、金原出版、2020、金井正光（監）
非特異的IgE (総IgE, tIgE)	臨床検査法提要、改訂第35版、アレルギーに関する検査、新妻知行、913-914、金原出版、2020、金井正光（監）
特異的IgE (sIgE)	臨床検査法提要、改訂第35版、アレルギーに関する検査、新妻知行、913-914、金原出版、2020、金井正光（監）
ABO式血液型	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清、三崎義堅、485-486、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、輸血・移植関連検査、名倉豊、曾根伸治、975-1000、金原出版、2020、金井正光（監） 日本臨床衛生検査技師会ライブラリーXⅡ輸血検査の実際、改訂第3版、輸血標準化部会、日本臨床衛生検査技師会、2002 輸血検査における標準手順書、第3版、杉田洋一、愛知県臨床検査標準化協議会、2020岡田元、佐野俊一、杉浦秀哲（編）、 輸血・移植検査技術教本、第2版、輸血検査、池田和博、8-102、丸善出版株式会社、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会（監）
Rh式血液型	同上
β -D-グルカン	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、湯浅和美、後藤元、642-643、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、 β -D-グルカン、奥村伸生、971、金原出版、2020、金井正光（監）

検査項目	参考文献
内分泌学検査	
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、加治秀介、255-256、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、橋本貴士:内分泌代謝機能検査、771-773、金原出版、2020、金井正光(監)
遊離トリヨードサイロニン(FT ₃)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、高松順太、270、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、橋本貴士:内分泌代謝機能検査、774-776、金原出版、2020、金井正光(監)
遊離サイロキシシン(FT ₄)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、高松順太、269-270、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、橋本貴士:内分泌代謝機能検査、774-776、金原出版、2020、金井正光(監)
黄体形成ホルモン(LH)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、加治秀介、257-258、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、市原淳弘:内分泌代謝機能検査、801-809、金原出版、2020、金井正光(監)
卵胞刺激ホルモン(FSH)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、加治秀介、258-259、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、市原淳弘:内分泌代謝機能検査、801-809、金原出版、2020、金井正光(監)
プロラクチン(PRL)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、加治秀介、253-254、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、菅原明:内分泌代謝機能検査、768-769、金原出版、2020、金井正光(監)
プロゲステロン(PRGE)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、飯高誠、片山茂裕、300-301、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、市原淳弘:内分泌代謝機能検査、809-815、金原出版、2020、金井正光(監)
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、飯高誠、片山茂裕、301-302、医学書院、2021、高久史磨(監)
テストステロン(TESTO)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、飯高誠、片山茂裕、306-307、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第34版、市原淳弘:内分泌代謝機能検査、809-815、金原出版、2020、金井正光(監)
エストラジオール(E2)	臨床検査データブック、2021-2022、内分泌学の検査、飯高誠、片山茂裕、296-297、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、市原淳弘:内分泌代謝機能検査、809-815、金原出版、2020、金井正光(監)
腫瘍関連検査	
α-フェトプロテイン(AFP)	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、日野田裕治、今井浩三、656-657、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、639、金原出版、2020、金井正光(監)
癌胎児性抗原(CEA)	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、日野田裕治、今井浩三、649-650、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、641、金原出版、2020、金井正光(監)
CA19-9	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、今井浩三、安井寛、652-653、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、641-642、金原出版、2020、金井正光(監)
前立腺特異抗原(PSA)	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、井手久満、堀江重郎、673-674、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、650-651、金原出版、2020、金井正光(監)
CA125	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、今井浩三、安井寛、668-669、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、647、金原出版、2020、金井正光(監)
CA15-3	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、今井浩三、安井寛、662、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、645、金原出版、2020、金井正光(監)
SCC	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、今井浩三、安井寛、660、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、643、金原出版、2020、金井正光(監)
IL-2R	臨床検査データブック、2021-2022、免疫血清検査、三崎義堅、484、医学書院、2021、高久史磨(監)
PIVKA-II	臨床検査データブック、2021-2022、腫瘍・線維化マーカー、日野田裕治、今井浩三、655-656、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、腫瘍マーカー、川茂幸、640-641、金原出版、2020、金井正光(監)
ウイルス感染症検査	
HBs抗原(HBsAg)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、中村郁夫、587-589、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、肝炎ウイルス関連検査、田中榮司、1534-1535、金原出版、2020、金井正光(監)
HBs抗体(HBsAb)	同上
HBc抗体(HBcAb)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、中村郁夫、587-589、医学書院、2021、高久史磨(監)小池幸弘 臨床検査法提要、改訂第35版、肝炎ウイルス関連検査、田中榮司、1535、金原出版、2020、金井正光(監)
HCV抗体(HCVAb)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、中村郁夫、592-593、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、肝炎ウイルス関連検査、田中榮司、1537-1540、金原出版、2020、金井正光(監)
HTLV-I抗体	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、貞升健志、597-598、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、ヒトT細胞白血病ウイルス1型、草川茂、1255-1258、金原出版、2020、金井正光(監)
HIV抗原抗体スクリーニング(HIV Ag／Ab)	臨床検査データブック、2021-2022、感染症検査、貞升健志、598-600、医学書院、2021、高久史磨(監) 臨床検査法提要、改訂第35版、臨床微生物検査、草川茂、1259-1263、金原出版、2020、金井正光(監)

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

検査項目	参考文献
薬物検査	
カルバマゼピン (CARB)	臨床検査データブック2021-2022、薬物・毒物、大谷壽一、加賀立二、779-780、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血中薬物濃度、苅谷嘉顕、鈴木洋史、679-704、金原出版、2020、金井正光（監）
ジゴキシン (DIG)	臨床検査データブック2021-2022、薬物・毒物、荒木拓也、鈴木康次郎、787、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血中薬物濃度、苅谷嘉顕、鈴木洋史、679-704、金原出版、2020、金井正光（監）
フェニトイン (PHNY)	臨床検査データブック2021-2022、薬物・毒物、内藤隆文、川上純一、778、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血中薬物濃度、苅谷嘉顕、鈴木洋史、679-704、金原出版、2020、金井正光（監）
フェノバルビタール (PHNO)	臨床検査データブック2021-2022、薬物・毒物、内藤隆文、川上純一、777、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血中薬物濃度、苅谷嘉顕、鈴木洋史、679-704、金原出版、2020、金井正光（監）
テオフィリン (THEO)	臨床検査データブック2021-2022、薬物・毒物、内藤隆文、川上純一、787、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血中薬物濃度、苅谷嘉顕、鈴木洋史、679-704、金原出版、2020、金井正光（監）
バルプロ酸 (VALP)	臨床検査データブック2021-2022、薬物・毒物、内藤隆文、川上純一、781-782、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血中薬物濃度、苅谷嘉顕、鈴木洋史、679-704、金原出版、2020、金井正光（監）
バンコマイシン (VCM)	臨床検査データブック2021-2022、薬物・毒物、内藤隆文、川上純一、793-794、医学書院、2021、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第35版、血中薬物濃度、苅谷嘉顕、鈴木洋史、679-704、金原出版、2020、金井正光（監）
シクロスポリン (CsA)	臨床検査データブック、2019-2020、薬物・毒物、荒木拓也、山本康次郎、794-795、医学書院、2019、高久史磨（監） 臨床検査法提要、改訂第34版、血中薬物、大森栄、勝山善彦、630-631、金原出版、2015、金井正光（監）
微生物学検査	
一般細菌	臨床微生物検査ハンドブック、第5版、小栗豊子、三輪書店、2017、小栗豊子（編） 微生物検査ナビ、第2版、犬塚和久ほか、栄研化学株式会社、2016、堀井俊伸（監）、犬塚和久（編） 臨床検査法提要、改訂第34版、臨床微生物検査、川上由行ほか、1005-1048、1064-1114、金原出版株式会社、2015、金井正光（監） 戸田新細菌学、第33版、青木知信ほか、南山堂、2010、吉田眞一ほか（編） 感染症診断に役立つグラム染色、初版、永田邦昭、日水製薬株式会社、2006 感染症治療の基礎 初期治療に役立つ検査No.1 喀痰、初版、小栗豊子ほか、国際医学出版株式会社、2006、山口恵三、小栗豊子（監） 感染症治療の基礎 初期治療に役立つ検査No.2 血液・髄液、初版、小栗豊子ほか、国際医学出版株式会社、2006、山口恵三、小栗豊子（監） 感染症治療の基礎 初期治療に役立つ検査No.3 膿・分泌液・穿刺液、初版、小栗豊子ほか、国際医学出版株式会社、2007、山口恵三、小栗豊子（監） 感染症治療の基礎 初期治療に役立つ検査No.4 糞便、初版、小栗豊子ほか、国際医学出版株式会社、2007、山口恵三、小栗豊子（監） 感染症治療の基礎 初期治療に役立つ検査No.5 尿・腔分泌物、初版、小栗豊子ほか、国際医学出版株式会社、2008、山口恵三、小栗豊子（監） 愛知県臨床検査値統一化ガイドライン「日常微生物検査における標準手引書」、第1版、山口育夫ほか、愛知県臨床検査標準化協議会、2006、松本祐之ほか（編） 抗菌薬感受性試験のための標準検査法、第26版、日本臨床微生物学会、日本臨床検査標準協議会、2016 Manual of Clinical Microbiology, 12th, Karen C. Carroll <i>et al.</i> ASM. 2019, Karen C. Carroll, Michael A. Pfaller (Editors)
抗酸菌	臨床微生物検査ハンドブック、第5版、小栗豊子、三輪書店、2017、小栗豊子（編） 臨床検査法提要、改訂第34版、臨床微生物検査、川上由行ほか、1048-1058、金原出版株式会社、2015、金井正光（監） 戸田新細菌学、第33版、青木知信ほか、南山堂、2010、吉田眞一ほか（編） 抗酸菌検査ガイド、2020、御手洗聡ほか、南江堂、2020、日本結核・非結核性抗酸菌症学会（編）
結核菌群核酸同定	感染症診断のための遺伝子検査の適応と実践、第1版、大楠清文、シスメックス株式会社、2011
MAC核酸同定	臨床微生物検査ハンドブック、第5版、小栗豊子、三輪書店、2017、小栗豊子（編） 遺伝子検査検体取り扱いガイドライン、第1版、谷浩也ほか、愛知県臨床検査標準化協議会、2009、松本祐之ほか（編） 抗酸菌検査ガイド、2020、御手洗聡ほか、南江堂、2020、日本結核・非結核性抗酸菌症学会（編）
CDトキシンA／B+CD抗原	日本臨床微生物学雑誌、2017、第27巻 第4号、 <i>Clostridium difficile</i> 毒素遺伝子検査を踏まえた検査アルゴリズム、賀来満夫ほか
ロタウイルス／アデノウイルス	戸田新細菌学、第33版、ウイルス学、柳雄介、皆川洋子、742-745、825-826、南山堂、2010、吉田眞一ほか（編）
ノロウイルス	戸田新細菌学、第33版、ウイルス学、柳雄介、765-766、南山堂、2010、吉田眞一ほか（編）
マイコプラズマ (LAMP法)	日本臨床微生物学雑誌 Vol.23 No.2 2013. 9、 <i>Mycoplasma</i> 感染症診断におけるLAMP法を用いた <i>Mycoplasma pneumoniae</i> DNA検出の有用性と従来法（培養法・血清学的検査法）の比較検討、杵渕貴洋ほか
SARS-CoV-2遺伝子検査	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針、第4.1版、病原体検査の指針検討委員会 2019-nCoV (新型コロナウイルス) 感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル、2021/3/19更新版、国立感染症研究所

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

その他

容器一覧

容器番号	容器	備考	
01	茶:分離剤入り		
	容量	6mL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査		

容器番号	容器	備考	
02	紫:EDTA加 (EDTA2K)		
	容量	2mL	
	添加剤	EDTA2K	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
	主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア	

容器番号	容器	備考	
03	灰:NaF加 (EDTA2K・NaF入)		
	容量	2mL	
	添加剤	EDTA2K・NaF	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な 検査項目	血糖、HbA1c		

容器番号	容 器	備 考	
04	黒:クエン酸加 (3.2%クエン酸Na)		
	容量	2mL	
	添加剤	3.2%クエン酸Na	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な 検査項目	凝固線溶系検査		

容器番号	容器	備考	
05	赤:血液型専用 (EDTA2K)		
	容量	2mL	
	添加剤	EDTA2K	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な 検査項目	血液型検査		

容器番号	容器	備考	
06	橙:クエン酸加 (3.28%クエン酸Na)		
	容量	2mL	
	添加剤	3.28%クエン酸Na	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	赤血球沈降速度		

容器番号	容器	備考	
07	緑:ヘパリン加		
	容量	5mL	
	添加剤	ヘパリン	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	血球計算、 生化学・免疫項目(項目限定)		

容器番号	容器	備考	
08	黄:分離剤入り (ミニコレクト)		
	容量	800μL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	生化学検査、免疫血清学検査		

容器番号	容器	備考	
09	紫:EDTA加 (EDTA2K・ミニコレクト)		
	容量	500μL	
	添加剤	EDTA2K	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	末梢血一般検査、BNP、アンモニア		

容器番号	容器	備考	
10	水色:クエン酸加 (3.2%クエン酸Na・ミニコレクト)		
	容量	1mL	
	添加剤	3.2%クエン酸Na	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	凝固線溶系検査		

容器番号	容器	備考	
11	気管吸引キット		
	容量	50mL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	気管支肺胞洗浄液(BAL)検査		

容器番号	容器	備考	
13	滅菌容器		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
	主な検査項目	生化学、免疫項目、尿一般、細菌、髄液、胸水、腹水	

容器番号	容器	備考	
14	ヘパリン加2.5mLシリンジ		
	容量	2.5 mL	
	添加剤	ヘパリン	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	血液ガス		

容器番号	容器	備考	
15	ヘパリン加マイクロシリンジ		
	容量	3mL	
	添加剤	ヘパリン	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	血液ガス		

容器番号	容器	備考	
16	尿コップ		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	尿一般検査、細菌検査		

容器番号	容器	備考	
17	尿ボトル		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	尿一般検査		

容器番号	容器	備考	
18	採尿パック		
	容量	100mL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	尿一般検査		

容器番号	容器	備考	
19	採便専用容器		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	1年	
主な検査項目	便潜血		

容器番号	容器	備考	
20	直採管		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	虫卵、便培養		

容器番号	容器	備考	
21	蟯虫検査セロファン (2回採卵式)		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	蟯虫卵		

容器番号	容器	備考	
22	呼気採取バッグ		

容器番号	容器	備考	
23	滅菌ネジコップ		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	精液検査		

容器番号	容器	備考		
24	シードスワブ			
	容量	—		
	添加剤	—		
	保管方法	常温		
	有効期間	—		
	主な検査項目	細菌検査		

一般検査

血液学検査

生化学検査

免疫血清学検査

内分泌学検査

腫瘍関連検査

ウイルス学検査

薬物検査

微生物学検査

その他

その他

容器一覧

容器番号	容器	備考	
25	嫌気ポーター		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	2年	
主な検査項目	嫌気培養		

容器番号	容 器	備 考	
26	好気用ボトル		
	容量	3～10mL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	ボトルに記載	
	主な検査項目	血液培養(好気培養)	

容器番号	容器	備考	
27	嫌気用ボトル		
	容量	3～10mL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	ボトルに記載	
	主な検査項目	血液培養(嫌気培養)	

容器番号	容器	備考	
28	小児用ボトル		
	容量	0.5～5mL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	ボトルに記載	
	主な検査項目	血液培養(小児血液培養)	

容器番号	容器	備考	
29	抗酸菌用ボトル		
	容量	1～5mL	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	ボトルに記載	
主な 検査項目	血液培養 (抗酸菌培養)		

容器番号	容器	備考	
30	細胞診綿棒		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	シカHIK胃型ムチン		

容器番号	容器	備考	
31	アデノウイルス抗原(咽頭)専用綿棒		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	アデノウイルス抗原(咽頭)		

容器番号	容器	備考	
32	RSウイルス・インフルエンザ・SARS-CoV-2 ヒトメタニューモウイルス専用綿棒		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
	主な検査項目	RSウイルス抗原、 ヒトメタニューモウイルス抗原	

容器番号	容器	備考	
33	A群β溶連菌抗原専用綿棒		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な 検査項目	A群β溶連菌抗原		

容器番号	容器	備考	
34	鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原専用綿棒		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	鼻腔ぬぐい肺炎球菌抗原		

容器番号	容器	備考	
35	ノロウイルス抗原専用綿棒		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
	主な検査項目	ノロウイルス抗原	

容器番号	容器	備考	
36	ロタウイルス・アデノウイルス専用綿棒		
	容量	—	
	添加剤	—	
	保管方法	常温	
	有効期間	—	
主な検査項目	ロタウイルス・アデノウイルス		

容器番号	容 器	備 考
37	CDトキシンA/B CD抗原専用綿棒	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	CDトキシンA/B CD抗原	

容器番号	容 器	備 考
38	スライドガラス	
 	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	抗酸菌染色、顆粒球、ラクトバシラス	

容器番号	容 器	備 考
39	フロックスワブ	
	容量	—
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	マイコプラズマ (LAMP法)	

容器番号	容 器	備 考
40	β-D-グルカン専用 (ヘパリンNa)	
	容量	3mL
	添加剤	ヘパリンNa
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	β-Dグルカン	

容器番号	容 器	備 考
41	シクロスポリン専用 (EDTA2Na)	
	容量	5mL
	添加剤	EDTA2Na
	保管方法	常温
	有効期間	1年
主な検査項目	シクロスポリン	

容器番号	容 器	備 考
42	アメーバ原虫専用採取容器	
	容量	14mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	5年
主な検査項目	アメーバ原虫	

容器番号	容 器	備 考
43	ウロキャッチ	
	容量	10mL
	添加剤	—
	保管方法	常温
	有効期間	—
主な検査項目	尿一般検査	

容器番号	容 器	備 考
44	ニプロ ネオチューブ NP-CW0457-1 (3.2%クエン酸Na)	
	容量	4.5mL
	添加剤	3.2%クエン酸Na
	保管方法	常温
	有効期間	1年 (個包装)
主な検査項目	クロスミキシング試験	

一般検査
血液学検査
生化学検査
免疫血清学検査
内分泌学検査
腫瘍関連検査
ウイルス学検査
薬物検査
微生物学検査
その他